

令和4年度

福島県産業廃棄物排出処理状況確認調査業務報告書

(令和3年度実績)

令和5年1月

福 島 県

目 次

第1章 調査の概要	1
1.1 調査の目的	1
1.2 調査の内容	1
1.3 各報告書の報告状況	2
1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理	3
1.5 調査に関する基本的な事項	5
第2章 調査結果の概略	8
2.1 令和3年度の産業廃棄物の排出状況	8
2.2 令和3年度の産業廃棄物の処理状況	11
2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況	14
2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況	15
2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果	16
第3章 産業廃棄物処理業者の実績	19
3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要	19
3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理	23
3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分	29
第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績	35
4.1 多量排出事業者等における報告状況	35
4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性	37
第5章 産業廃棄物の処理状況	40
5.1 再生利用の状況	40
5.2 最終処分の状況	43
第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析	46
6.1 データ整備等の内容	46
6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況	47
6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成	49
参考データ	51
統計表1 業種別・種類別の排出量	51
統計表2 排出量及び処理量（種類別）	52
統計表3 排出量及び処理量（業種別）	54
統計表4 排出量及び処理量等の経年推移	56

第1章 調査の概要

1.1 調査の目的

本調査は、令和3年度における県内の産業廃棄物の排出・処理等の実態を調査し、産業廃棄物の排出抑制及び適正処理の推進に資することを目的に実施した。

1.2 調査の内容

1 報告書データの電子化及びデータの整理

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する実績報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の電子化を行った。

電子化されたデータの内容のチェック、各様式間における整合性のチェックを行い、記入不備等のデータの整備を行った。

2 産業廃棄物の物流情報の整理、分析

1.2.1のデータを基に、福島県の産業廃棄物の排出及び処理情報（県外からの移入、県外への移出も含む）の整理、分析を行った。

3 産業廃棄物の排出・処理量の推計及び廃棄物処理計画の進行管理状況の分析

1.2.1の結果等から、産業廃棄物の排出・処理量の推計を行うとともに、推計結果と福島県廃棄物処理計画（令和4年1月）で定めた目標値の達成状況やその分析を行い、計画の進捗状況のとりまとめを行った。

4 最終処分場残余年数の推定

1.2.1のデータ及び過去の同データを基に、県内の最終処分場残余年数を推計した。

5 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の電子化及び集計解析

排出事業者から提出された産業廃棄物管理票交付等状況報告書及び電子マニフェスト登録等状況報告書を基に、排出事業者の台帳の作成及び廃棄物の排出・処理状況の集計・解析を行った。

6 資源化状況の解析

1.2.1のデータを基に、廃棄物の種類ごとに資源化用途及び利用先業種(素材産業等)を整理し、資源化推進施策となる基礎情報を作成した。

7 「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」の更新等

1.2.1のデータを基に、現行の「福島県廃棄物処理計画進行管理システム」のデータを更新するとともに、1.2.2、1.2.3の分析等がシステム上で行えるよう分析ツールを更新した。

1.3 各報告書の報告状況

産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）の報告状況は、表 1-1 のとおりである。

報告件数は、処分業者及び収集運搬業者が 3,172 件、排出事業者（多量（指定）排出事業者・施設設置事業者）が 366 件、鉱業事業者が 10 件となっており、報告率は全体で 76%となっている。

表 1-1 報告者属性別・所管別の報告数、報告状況

	処分業者及び 収集運搬業者		多量排出事業者等 ・施設設置者		鉱業事業者		計	
	調査 対象数	報告数	調査対 象数	報告数	調査対 象数	報告数	調査対 象数	報告数
福島県	3,974	3,048	344	243	11	7	4,329	3,298
福島市	11	9	37	24	0	0	48	33
郡山市	12	12	52	34	0	0	64	46
いわき市	143	103	83	65	3	3	229	171
計	4,140	3,172	516	366	14	10	4,670	3,548
(報告率)	(77%)		(71%)		(71%)		(76%)	

1.4 各種報告書のデータ整備及び産業廃棄物の排出・処理状況の整理

1 産業廃棄物処理業者の報告書の整理

(1) 物流情報の整理

提出された産業廃棄物処理業者の実績報告書の情報について、廃棄物の種類、量、委託者（排出事業者）及び所在地、処分業者名及び処分方法、処分先所在地等を整理した。

更に、排出事業者及び所在地と処分業者及び所在地の関係から、表 1-2 に示す物流コードに基づきとりまとめた。

なお、委託者の排出事業者と業者（中間処理残さ物を委託）の識別は、「委託者の名称と所在地」と「県内の中間処理業者と処理施設所在地」のマッチングにより行った。

表 1-2 物流フローの整理内容

情報ソース	流れ	処分 区分	物流コード(委託者)			備考
			事業者	業者	自社	
処分業者の 報告	県内→県内	中間	A	ア	サ	
	県内→県内	最終	B	イ	シ	
	県外→県内	中間	C	ウ		
	県外→県内	最終	D	エ		
収集運搬業 者の報告	県内→県外	中間	E	カ	ソ	
	県内→県外	最終	F	キ	タ	
	県内→県内	中間	Q	R		A、アとの重複情報のため集計しない
	県内→県内	最終	S	T		B、イとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	中間	U	V		C、ウとの重複情報のため集計しない
	県外→県内	最終	W	X		D、エとの重複情報のため集計しない

(2) 排出事業者の産業分類（業種）の整備

(1)の物流情報で整理した事業者（産業廃棄物排出事業者）及び自社分については、既存の各種事業所名簿等を用いて、業種コードを整備した。

2 排出事業者の報告書の整備

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃棄物処理法」という。）に基づく多量排出事業者の実績報告及び福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例（以下、「適正化条例」という。）に基づく指定排出事業者の実績報告の情報は、事業者の業種、廃棄物の種類、量、処分方法等を整備した。

3 産業廃棄物の排出量・処理量の推計

産業廃棄物の発生量及び処理量は、排出事業者の自己処理量と委託処理量で構成される。

(1) 自己処理量

自己処理量は、自己で完結（委託されない）する中間処理及び売却、自社利用、自社埋立である。これらの処理を行う事業者の大部分は、廃棄物処理法に基づく多量排出事業者及び適正化条例に基づく指定排出事業者であると仮定すると、これらの事業者の実績データで推計することができる。

(2) 委託処理量

産業廃棄物処理業者の実績から把握した。排出事業者から排出された産業廃棄物のうち、県内での処理については、県内の中間処理業者及び最終処分業者の実績データを使用し、県外での処理については、収集運搬業者の実績データを使用した。

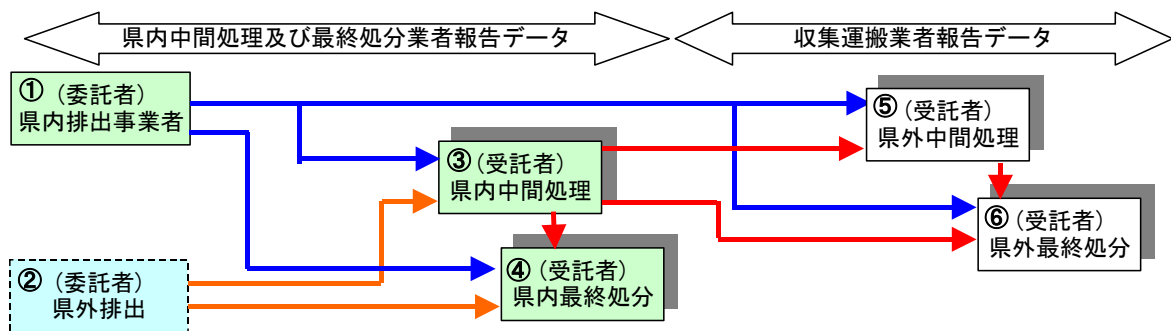


図 1-1 処分実績及び収集運搬実績データからの処理フロー作成概念図

また、上記の(1)と(2)の情報から十分に把握できない、鉱業からの汚泥（砂利等の採取事業所内で脱水処理され現場内再利用等が行われているもの等）についても調査を行い、情報を補完した。推計方法の概略は、図 1-2 のとおりである。

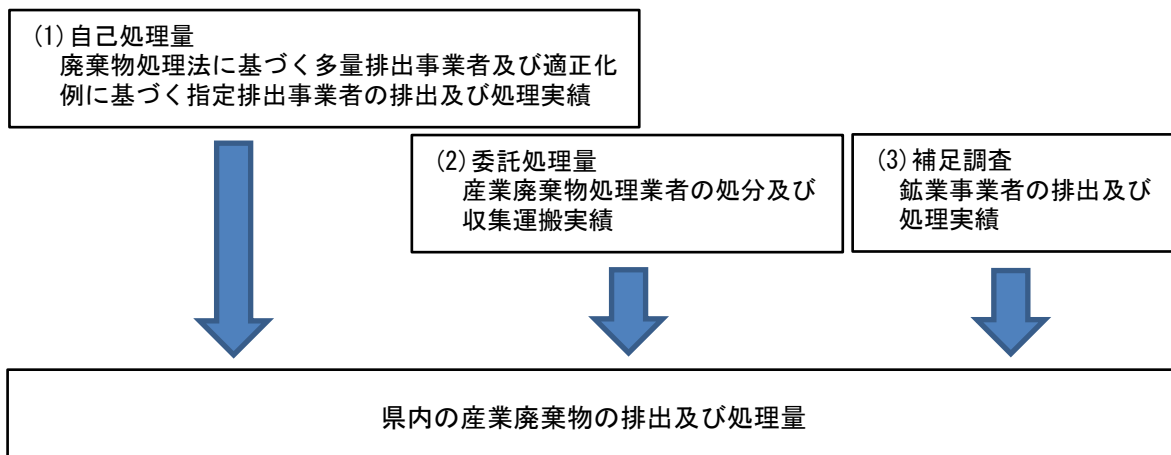


図 1-2 産業廃棄物の排出・処理量の推計方法の概略

なお、実績報告書の提出がない産業廃棄物処理業者及び排出事業者のデータについては、前年度実績や産業廃棄物管理票交付等状況報告書のデータを用いて推計した。

1.5 調査に関する基本的な事項

1 地区区分

本調査における本県の地区区分は、表 1-3 に示すとおりとした。

表 1-3 地区区分

	地区名	構成市町村
T1	県北地区	二本松市、伊達市、本宮市 伊達郡（桑折町、国見町、川俣町） 安達郡（大玉村）
T2	県中地区	須賀川市、田村市 岩瀬郡（鏡石町、天栄村） 石川郡（石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町） 田村郡（三春町、小野町）
T3	県南地区	白河市 西白河郡（西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町） 東白川郡（棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村）
T4	会津地区	会津若松市、喜多方市 耶麻郡（猪苗代町、北塩原村、西会津町、磐梯町） 河沼郡（会津坂下町、湯川村、柳津町） 大沼郡（会津美里町、三島町、金山町、昭和村）
T5	南会津地区	南会津郡（南会津町、下郷町、檜枝岐村、只見町）
T6	相双地区	相馬市、南相馬市 双葉郡（広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村） 相馬郡（新地町、飯館村）
TA	郡山市	郡山市
TB	いわき市	いわき市
TC	福島市	福島市

2 調査対象産業廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に定める次の産業廃棄物とした。

①燃え殻、②汚泥、③廃油、④廃酸、⑤廃アルカリ、⑥廃プラスチック類、⑦紙くず、⑧木くず、⑨繊維くず、⑩動植物性残さ、⑪動物系固形不要物、⑫ゴムくず、⑬金属くず、⑭ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）及び陶磁器くず〔注、本報告書における図表では「ガラス陶磁器くず」と略した〕⑮鉱さい、⑯がれき類、⑰ばいじん、⑱動物のふん尿、⑲動物の死体、⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの〔注、本報告書における図表では「13号廃棄物」と略した〕
※上記以外の種類に分類できない廃棄物は、「その他産業廃棄物」とした。

また、次に示す有償物、廃棄物等については下記の取り扱いとした。

ア 法令上廃棄物とならない有償物も今後の社会状況の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、今回の調査対象に含めた。（例 金属スクラップ及び火力発電所から発生する脱硫石膏等）

有償物量は、多量排出事業者等から提出される実績報告書の有償物量の欄を計上している。

イ 紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体については、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第2条で、産業廃棄物となる業種が指定されている。このため、指定された業種以外の事業所から発生した紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体については、原則として事業系一般廃棄物とし、産業廃棄物の集計から除外した。ただし、貨物の流通のために使用したパレットに係る木くずは、産業廃棄物として取り扱われるため、パレットに係る木くずはすべての業種で産業廃棄物として集計した。

ウ 酸性又はアルカリ性を呈する廃水を公共用水域へ放流することを目的として事業所で中和処理を行っている場合には、当該廃水を除外し、中和処理後に生じた汚泥（沈でん物）を発生量とした。

エ 廃棄物を自己焼却処理する場合は、燃え殻等の発生量ではなく焼却処理前の廃棄物を発生量とした。

3 産業廃棄物の種類の区分

中間処理により廃棄物の種類が変化する場合、本調査では変化後の種類で記載した場合には、（処分時点）又は（再生利用時点）と記載した。

例 木くず→（焼却）→燃え殻（中間処理前の種類及び中間処理方法から推定）
（最終処分量の解析の際に、燃え殻（処分時点）と記載。）

4 調査対象業種

調査対象業種は、日本標準産業分類（平成 25 年 10 月改訂、総務省）に記載されている区分を基本にして、表 1-4 のとおりとした。なお、本報告書では、業種の名称を一部省略して用いた。

表 1-4 調査対象業種

日本標準産業分類		略称
A	農業，林業 農業 林業	農業・林業 農業 林業
B	漁業	漁業
C	鉱業，採石業，砂利採取業	鉱業
D	建設業	建設業
E	製造業 食料品製造業 飲料・たばこ・飼料製造業 繊維工業 木材・木製品製造業 家具・装備品製造業 パルプ・紙・紙加工品製造業 印刷・同関連業 化学工業 石油製品・石炭製品製造業 プラスチック製品製造業 ゴム製品製造業 なめし革・同製品・毛皮製造業 窯業・土石製品製造業 鉄鋼業 非鉄金属製造業 金属製品製造業 はん用機械器具製造業 生産用機械器具製造業 業務用機械器具製造業 電子部品・デバイス・電子回路製造業 電気機械器具製造業 情報通信機械器具製造業 輸送用機械器具製造業 その他の製造業	製造業 食料品 飲料・飼料 繊維 木材 家具 パルプ・紙 印刷 化学 石油・石炭 プラスチック ゴム 皮革 窯業・土石 鉄鋼 非鉄金属 金属 はん用機器 生産用機器 業務用機器 電子部品 電気機器 情報通信機器 輸送機器 その他製造業
F	電気・ガス・熱供給・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業	電気・ガス・水道業 電気業 ガス業 熱供給業 上水道業 工業用水道業 下水道業
G	情報通信業	情報通信業
H	運輸業，郵便業	運輸・郵便業
I	卸売業，小売業	卸・小売業
J	金融業，保険業	金融・保険業
K	不動産業，物品賃貸業	不動産業・物品賃貸業
L	学術研究，専門・技術サービス業	専門サービス業
M	宿泊業，飲食サービス業	宿泊業・飲食サービス業
N	生活関連サービス業，娯楽業	生活サービス業
O	教育，学習支援業	教育・学習支援業
P	医療，福祉	医療・福祉業
Q	複合サービス業	複合サービス業
R	サービス業	サービス業
S	公務	公務

第2章 調査結果の概略

2.1 令和3年度の産業廃棄物の排出状況

産業廃棄物の業種別、種類別の排出量は、図2-1、図2-2、表2-1のとおりである。

令和3年度における産業廃棄物の排出量7,457千トン（千トン）を業種別にみると、製造業が2,612千トンで最も多く、次いで、電気・ガス・水道業が2,401千トン、建設業が2,175千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、汚泥が3,221千トンで最も多く、次いで、がれき類が1,622千トン、ばいじんが1,317千トンとなっている。

各産業廃棄物の主な排出元となる業種は、汚泥は製造業及び電気・ガス・水道業、がれき類は建設業、ばいじんは電気・ガス・水道業となっている。

平成23年度の排出量は、東日本大震災の影響により大きく減少したが、平成24年度～平成27年度においては、石炭火力発電所の稼働再開によりばいじんの排出量が増加し、また、復旧・復興工事により建設業の排出量が増加したため、震災発生前と同程度まで排出量が増加した。

平成25年度以降の排出量は減少傾向にある。東日本大震災の復旧・復興工事等から生じたがれき類の排出量の減少などが影響しているが、令和元年度以降は新型コロナウイルスの蔓延等による景気後退や地震災害による工場の被災等が影響している。

令和3年度における排出量の減少は、概ね経済指標等の推移と一致している（9ページ下段参照）。製造業の排出量の増加は、企業活動の進展のためと推測される。建設業の排出量の減少は、災害による復旧工事の減少が影響していると推測される。

電気・ガス・水道業の排出量は、ほぼ横ばいとなっている。

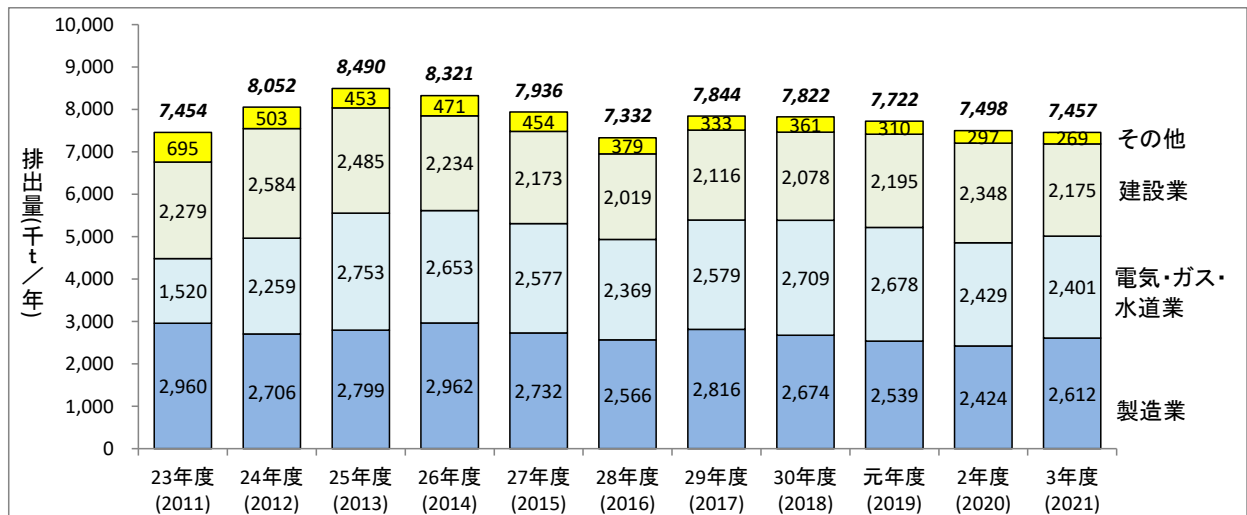


図2-1 産業廃棄物の業種別排出量の推移

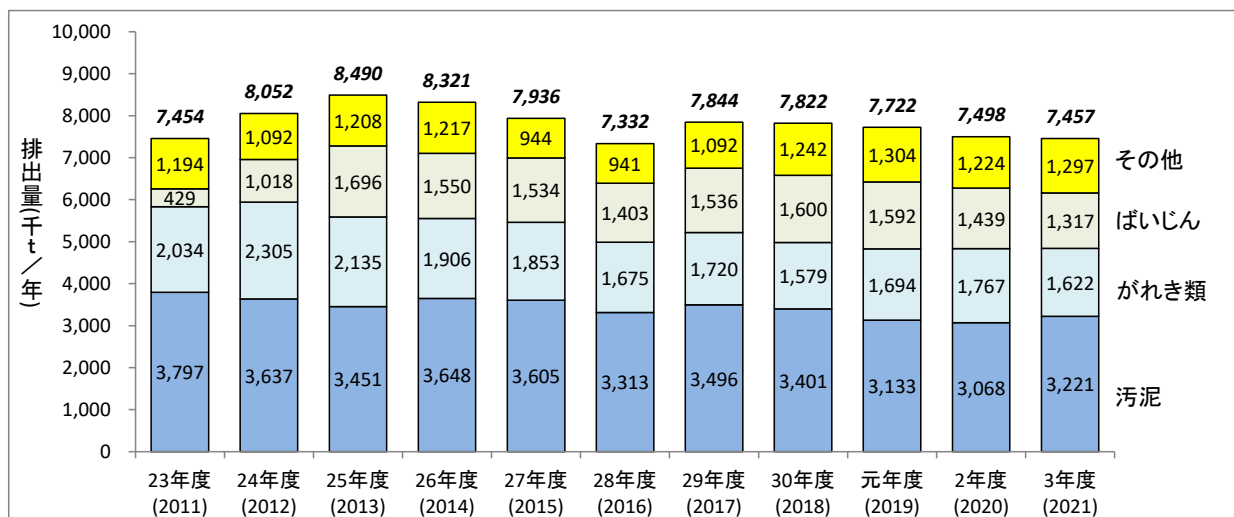


図 2-2 産業廃棄物の種類別排出量の推移

表 2-1 産業廃棄物の業種別・種類別の排出量

(単位: 千t/年)

業種 種類	業種									
	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	7,457 (100%)	127 (2%)	2,175 (29%)	2,612 (35%)	2,401 (32%)	6 (0%)	8 (0%)	10 (0%)	96 (1%)	23 (0%)
燃え殻	245 (3%)		1	14	230	0		0	0	0
汚泥	3,221 (43%)	127	113	2,113	842	0	1	1	18	5
廃油	33 (0%)		1	23	0	0	0	0	8	0
廃酸	19 (0%)		1	15	0	0	0	0	3	0
廃アルカリ	93 (1%)		0	89	1	0	0	0	3	0
廃プラスチック類	203 (3%)	0	58	92	1	2	6	2	39	3
紙くず	6 (0%)		4	1						0
木くず	275 (4%)		272	2	0	0	0		0	0
繊維くず	4 (0%)		4							
動植物性残さ	18 (0%)			18						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)		0	0			0		0	
金属くず	30 (0%)	0	13	7	0	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	146 (2%)	0	46	80	5	3	1	1	10	1
鉱さい	156 (2%)		1	109	46	0			0	0
がれき類	1,622 (22%)		1,621	0	0					
ばいじん	1,317 (18%)		0	43	1,274				0	0
動物のふん尿	8 (0%)									8
その他	61 (1%)		38	5	1	0	0	5	7	4

*表中の空欄は該当値がないもの、「0」表示は 500 t/年未満のもの。以下の図表において同じ。

【参考：福島県の経済指標等】

業種	経済指標等	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	増減 (R3-R2)	出典等
製造業	製造工業生産指数 (H27=100)	94.5	85.4	88.3	+2.9	福島県統計課 「福島県鉱工業指数年報」
電気業	火力発電所の発電電力量 (GWh)	47,372	47,094	47,416	+322	資源エネルギー庁 「電力調査統計」
建設業	除却建築物の床面積 (万 m ²)	48.3	60.3	35.5	-24.8	国土交通省「建築物減失統計調査」、上段は木造、下段は非木造

産業廃棄物の地区別排出量は、図 2-3、表 2-2 のとおりである。

排出量を地区別にみると、いわき市が 3,065 千トンで最も多く、次いで、相双地区が 1,912 千トン、以下、郡山市が 675 千トン、県北地区が 469 千トン、会津地区が 419 千トン、福島市が 332 千トン、県南地区が 301 千トン、県中地区が 256 千トン等となっている。

いわき市は、製紙業や化学工業の大規模工場があり、汚泥の排出量が多くなっている。また、人口が多いために、下水道汚泥や建築・道路工事に伴うがれき類等の日常生活に密着した産業廃棄物も多くなっている。

相双地区は、石炭火力発電所から発生するばいじんの排出量が多くなっている。

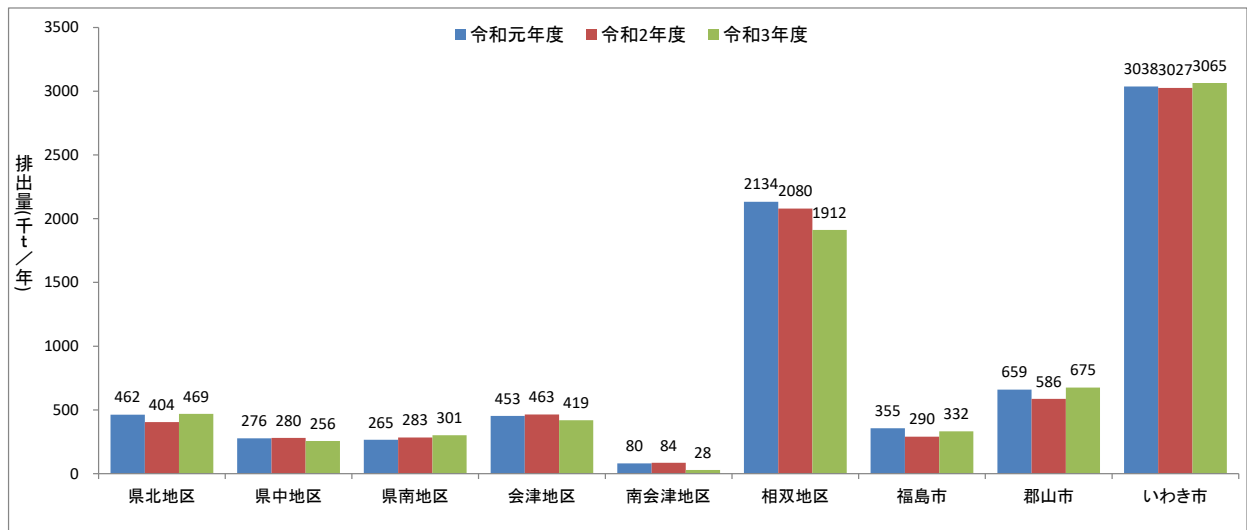


図 2-3 産業廃棄物の地区別排出量の推移

表 2-2 産業廃棄物の種類別・地区別排出量

		(単位：千t/年)								
地区	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
種類										
合計	7,457 (100.0%)	469 (6.3%)	256 (3.4%)	301 (4.0%)	419 (5.6%)	28 (0.4%)	1,912 (25.6%)	332 (4.5%)	675 (9.0%)	3,065 (41.1%)
燃え殻	245	0	0	1	8	0	214	0	0	21
汚泥	3,221	187	38	21	184	1	242	65	310	2,173
廃油	33	3	3	4	3	0	4	2	4	10
廃酸	19	2	1	1	5	0	3	0	3	5
廃アルカリ	93	5	1	2	14	0	19	20	8	25
廃プラスチック類	203	19	13	26	7	1	33	15	22	67
紙くず	6	0	0	1	0	0	1	1	1	1
木くず	275	20	33	43	27	4	18	31	33	66
繊維くず	4	1	0	0	0	0	2	0	0	0
動植物性残さ	18	3	2	2	0		0	4	6	0
動物系固形不要物										
ゴムくず	0		0				0	0	0	0
金属くず	30	7	3	3	1	1	3	2	7	3
ガラス陶磁器くず	146	12	13	9	11	1	34	11	20	35
鉱さい	156	50	17	21	7	0	19	10	2	31
がれき類	1,622	148	128	162	134	21	300	157	249	324
ばいじん	1,317	0	0	3	4	0	1,015		0	296
動物のふん尿	8	8	0							
その他産業廃棄物	61	5	3	2	14	0	7	12	10	9

2.2 令和3年度の産業廃棄物の処理状況

令和3年度に発生した産業廃棄物の処理フローは、**図2-4**のとおりである。

排出量7,457千トンのうち、94%に当たる6,986千トン（中間処理量）が排出事業者または産業廃棄物処理業者による脱水、焼却等の中間処理がされており、この結果、3,091千トン（減量化量）が減量されている。

中間処理後の再生利用量（3,672千トン）と排出事業者等での直接再生利用量（51千トン）を合わせた再生利用量は、排出量の50%に当たる3,723千トンとなっている。

直接最終処分量と中間処理後の最終処分量を合わせた最終処分量は、排出量の9%に当たる643千トンとなっている。

令和2年度と比較して、再生利用量は328千トンの減少（再生利用率は4ポイント減少）、最終処分量は131千トンの増加（最終処分率は2ポイント増加）となっている。

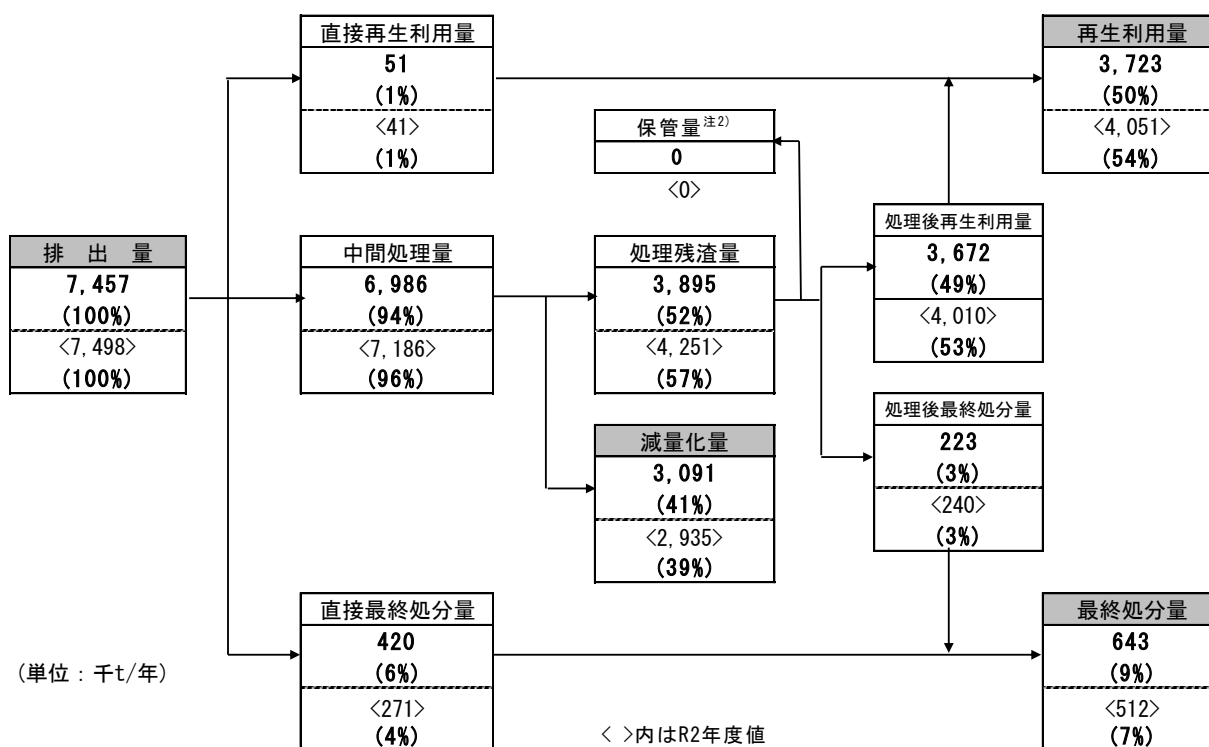


図2-4 産業廃棄物の処理フロー

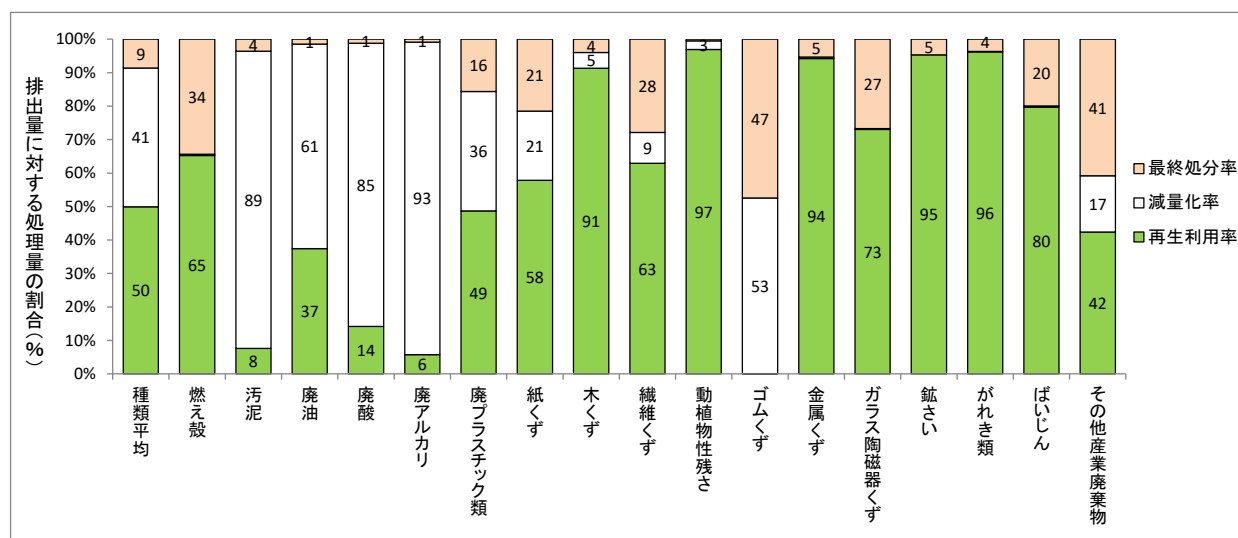
注1) ()内の数値は排出量に占める割合で、端数処理の関係により割合の合計が100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

注2) 保管量は、排出事業者及び産業廃棄物処理業者に対して実施したアンケート調査等結果から、定量化できたものを集計したもの。以下の図表において同じ。

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比を種類別にみると、**図 2-5** のとおりである。

汚泥、廃酸、廃アルカリは減量化される割合が高く、木くず、動植物性残さ、金属くず、鋳さい、がれき類は再生利用率が高くなっている。

一方で、燃え殻、ゴムくず、その他産業廃棄物（混合物等）は、最終処分率が高くなっている。



※図中の構成比 (%) の数値は、四捨五入しているため合計が 100%にならない場合がある。以下の図表において同じ。

図 2-5 種類別の排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の構成比

なお、産業廃棄物の処理状況を詳細にみたフローは、**図 2-6** のとおりである。

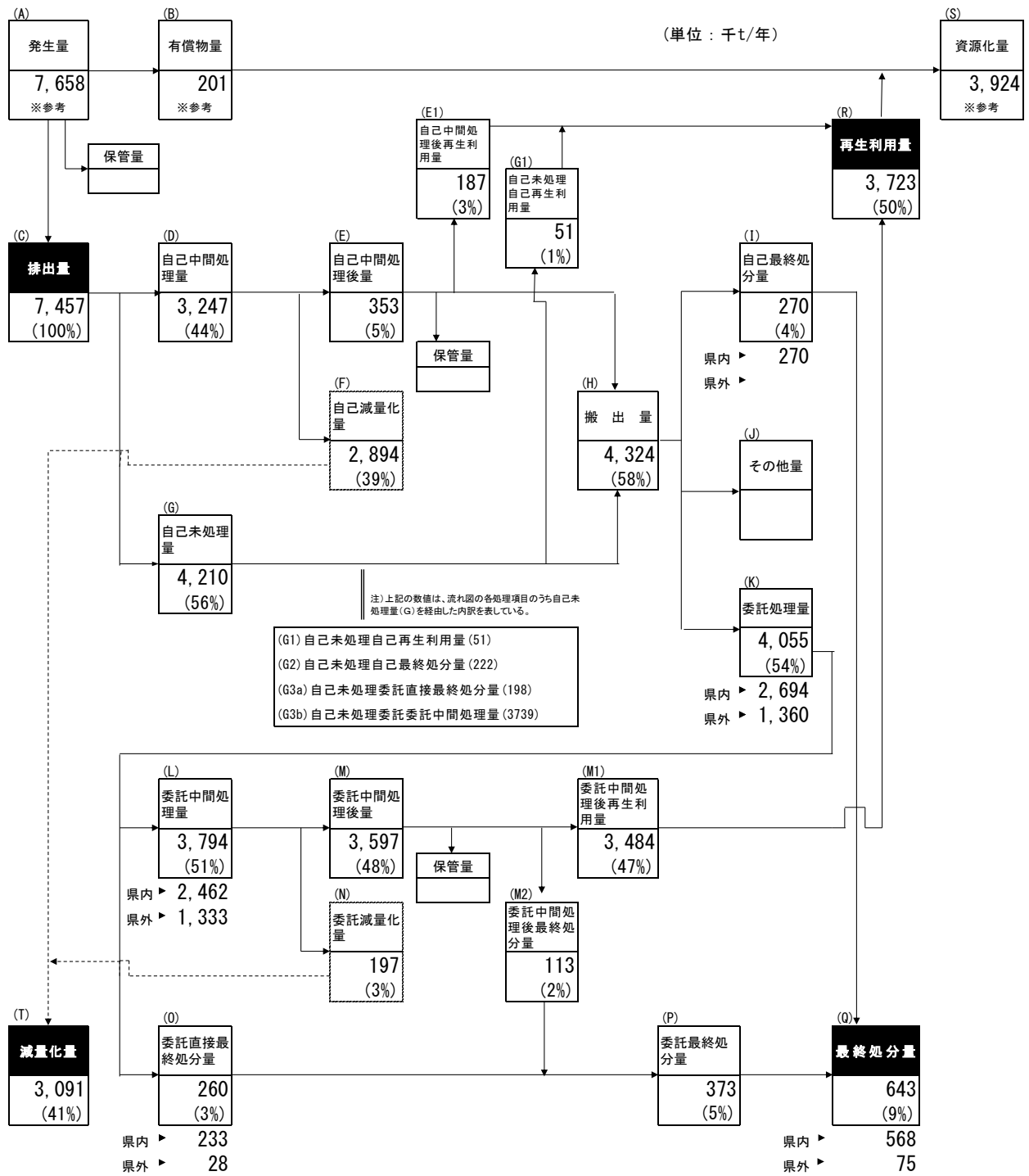


図 2-6 産業廃棄物の処理フロー (詳細)

2.3 廃棄物処理計画で定めた目標値に対する達成状況

福島県廃棄物処理計画（令和4年1月）では、令和8年度における目標値を「排出量（770万トン以下）」、「再生利用率（52%以上）」、「最終処分率（6%以下）」としており、福島県では達成状況の進行管理を行っている。

この目標値に対する実績値は、図2-7及び図2-8のとおりである。

令和3年度実績を目標値と比較すると、排出量（令和3年度:7,457千トン）の目標値は達成しているが、再生利用率（同:50%）と最終処分率（同:9%）については、目標値を達成していない。

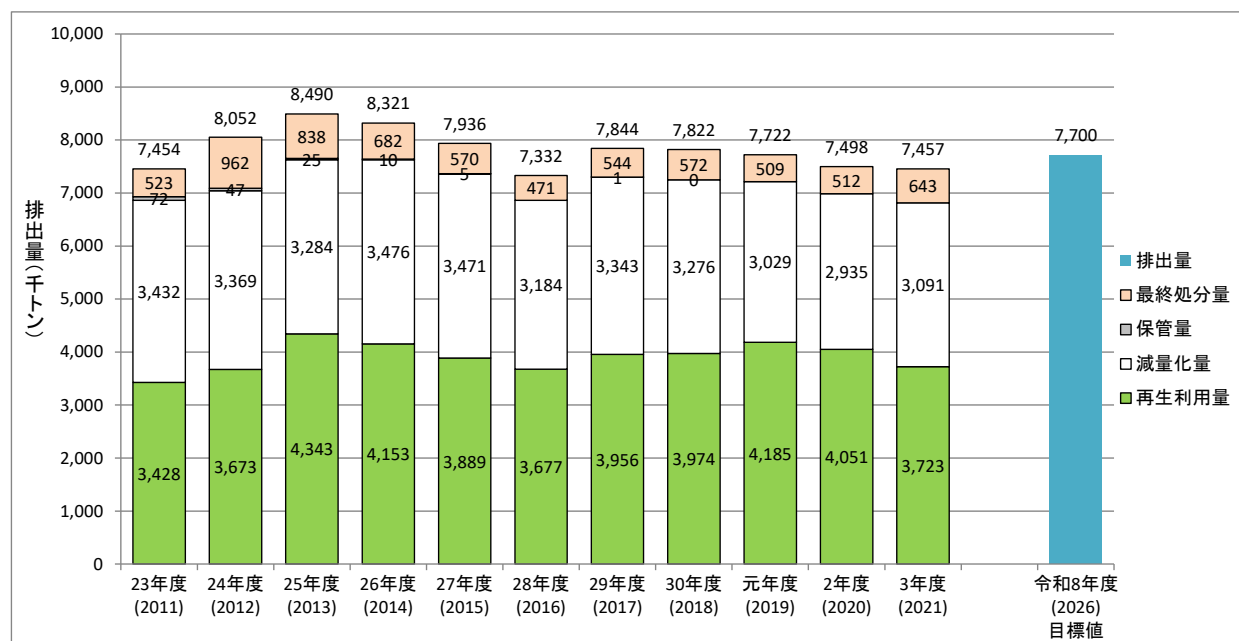


図 2-7 福島県廃棄物処理計画の達成状況（排出量）

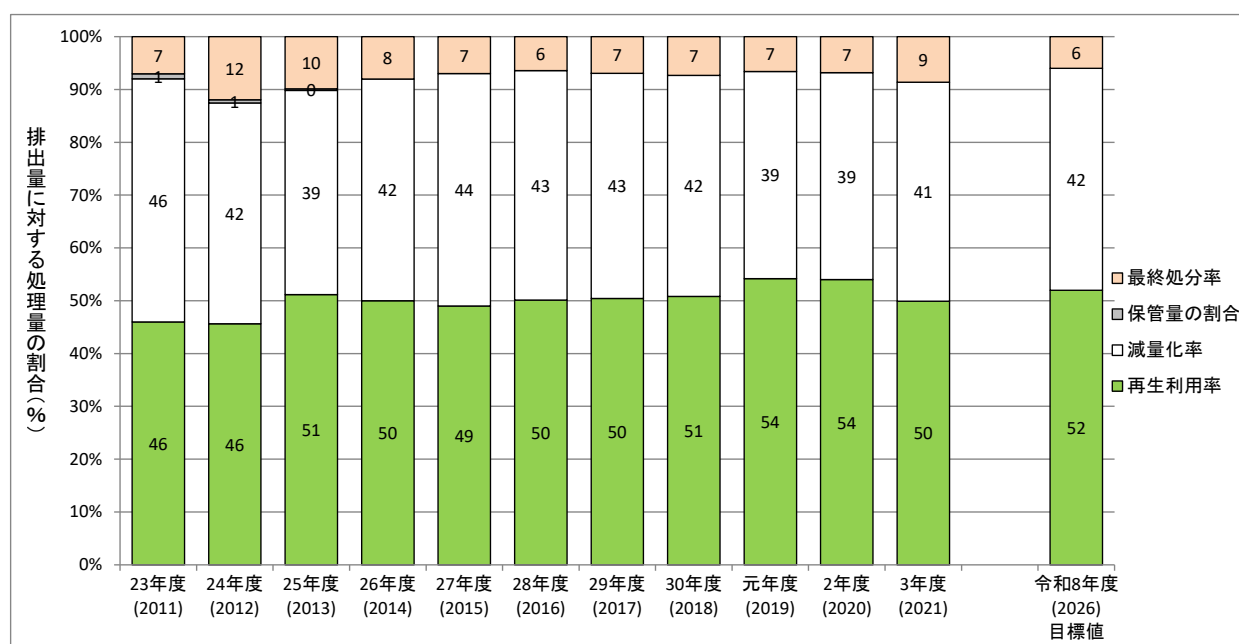


図 2-8 福島県廃棄物処理計画の達成状況（再生利用率・最終処分率）

2.4 地区別の産業廃棄物の処理状況

令和3年度の県内の産業廃棄物処理業者による中間処理実績及び最終処分実績を地区別にみると図2-9及び図2-10のとおりである。

産業廃棄物処理業者の中間処理実績を地区別にみると、いわき市が多くなっている。

産業廃棄物処理業者の最終処分実績を地区別にみると、いわき市、相双地区、福島市が多くなっている。

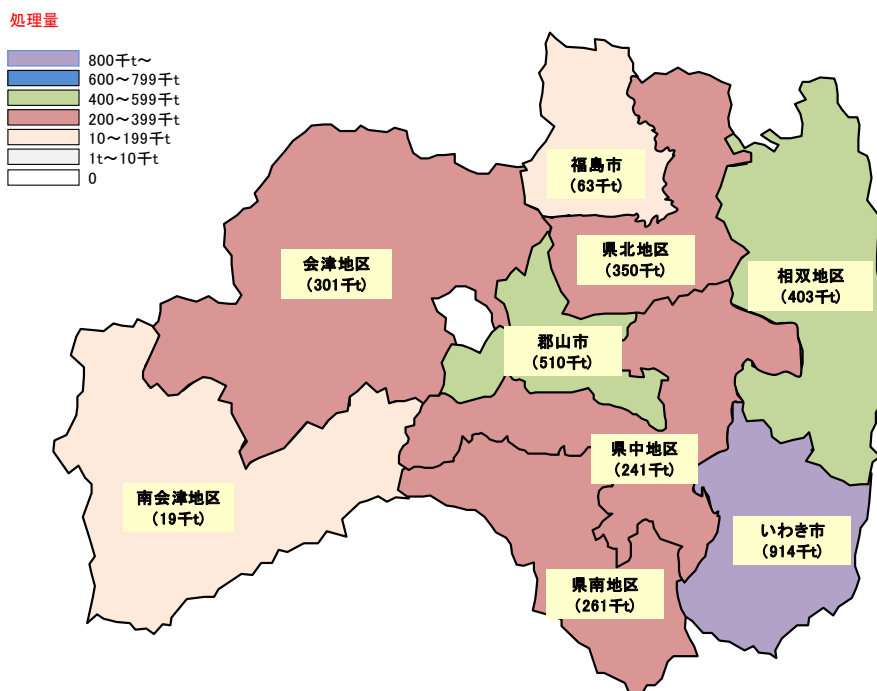


図 2-9 産業廃棄物処理業者の地区別中間処理実績

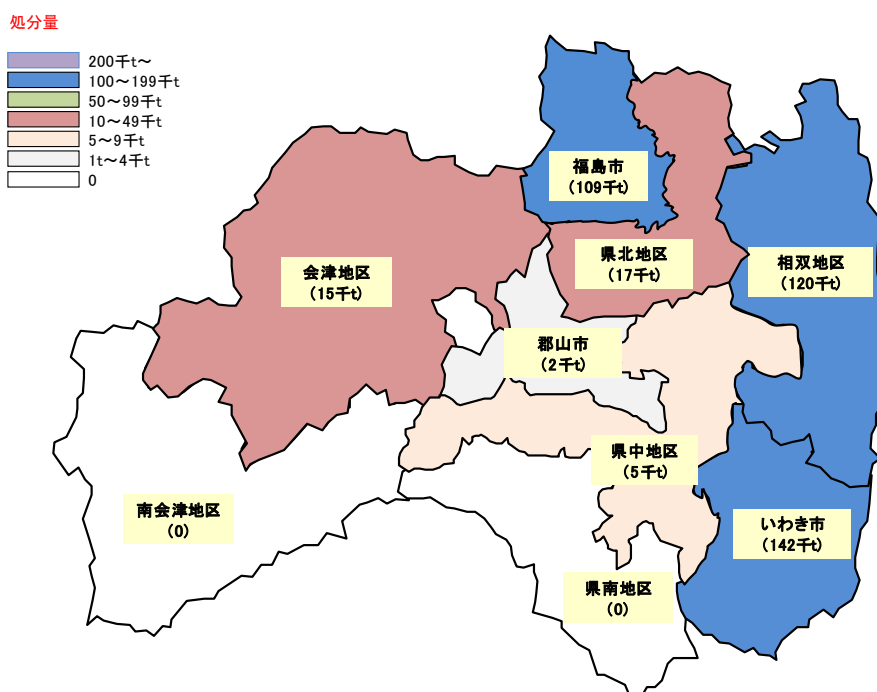


図 2-10 産業廃棄物処理業者の地区別最終処分実績

2.5 福島県廃棄物処理計画進行管理システムの更新結果

令和 3 年度実績として産業廃棄物処理業者及び排出事業者から提出された産業廃棄物の排出・処理状況に関する報告書のデータ（福島市、郡山市、いわき市分を含む。）等を基に、「福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム」に情報登録し、福島県をとりまく産業廃棄物の物流を整理した結果は、**図 2-11**、**図 2-12** のとおりである。

(1) 図 2-11、図 2-12 における各断面のデータについて

●赤枠処理項目

廃棄物処理法に基づく**多量排出事業者**及び適正化条例に基づく**指定排出事業者**より排出された産業廃棄物のうち、排出事業者内で処理が完結している有償物量、自己減量化量、自己再生利用量、自己埋立処分量、保管量について、処理フローを作成した。

●青枠処理項目

福島県内（福島市、郡山市、いわき市含む）の**産業廃棄物処分業者**の処分実績から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物の量は除外した。

●緑枠処理項目

福島県（福島市、郡山市、いわき市含む）許可を有する**産業廃棄物収集運搬業者**の運搬実績（県外への搬出分）から、処理フローを作成した。

なお、紫枠は、県外から搬入処理された産業廃棄物を排除した。

(2) 図 2-11、図 2-12 の表示値について

図 2-11 は、**多量排出事業者**及び**指定排出事業者**、**産業廃棄物処分業者**、**収集運搬業者**の処理実績データを集計した。

図 2-12 は、図 2-11 のうち、排出事業者の業種が指定されている業種以外の事業所から発生した事業系一般廃棄物（紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、動物のふん尿及び動物の死体）と災害廃棄物は除外した。

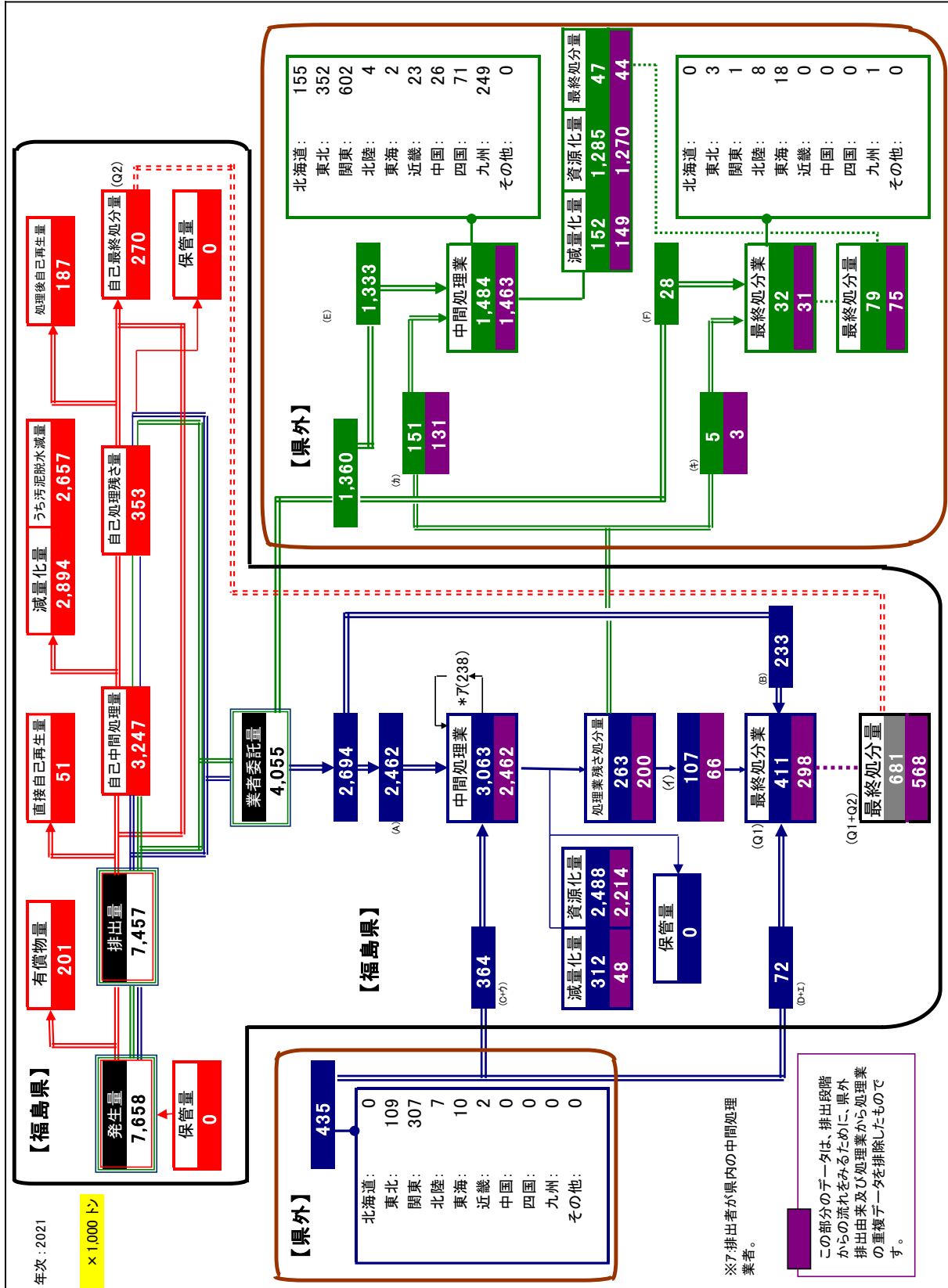


図2-12 福島県産業廃棄物処理計画進行管理システム（メインフロー）<福島県産業廃棄物処理計画進行管理用>

第3章 産業廃棄物処理業者の実績

3.1 県内の産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

令和3年度における産業廃棄物処理業者の処分実績の概要は、図3-1のとおりである。

県内での中間処理量は3,063千トンとなっており、このうち2,699千トンが県内の排出事業者等から搬入され、364千トンが県外から搬入されている。

県内の最終処分量は411千トンで、このうち340千トンが県内の排出事業者等から搬入され、72千トンが県外から搬入されている。

県外へ搬出された産業廃棄物は1,516千トンで、このうち中間処理のため排出されたものが1,484千トン、最終処分のために搬出されたものが32千トンとなっている。

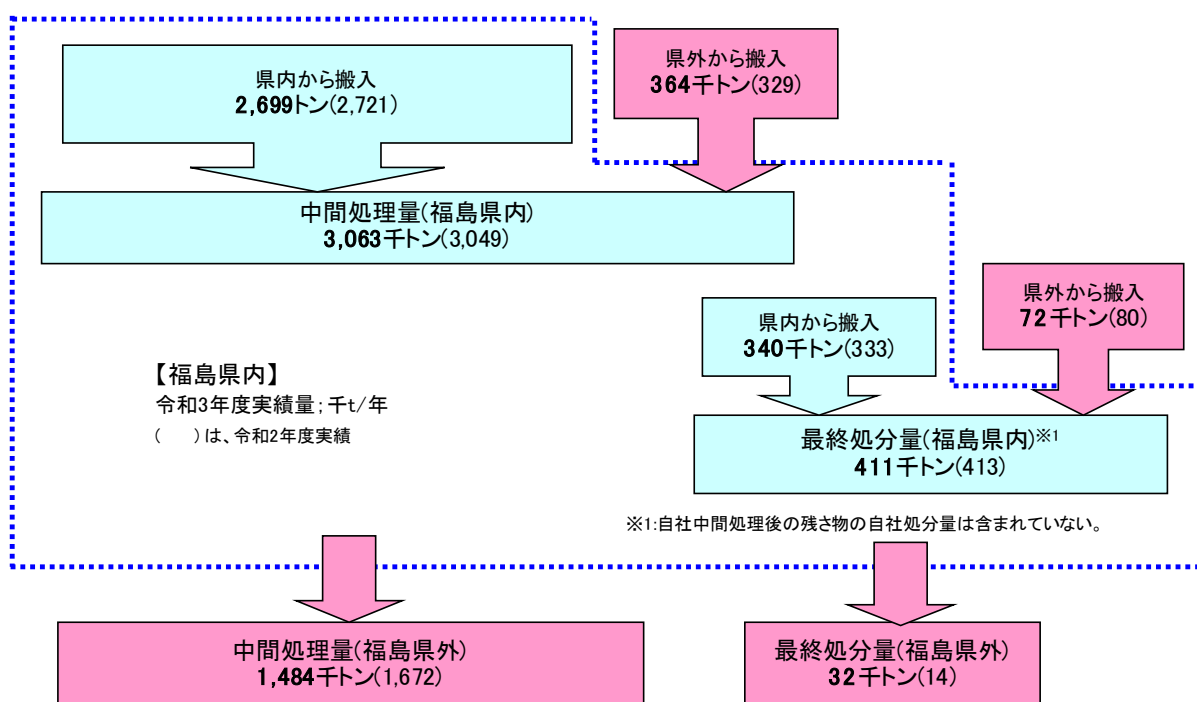


図3-1 産業廃棄物処理業者の処分実績の概要

1 県内の中間処理業者の処分実績

中間処理業者の産業廃棄物の種類別の処理量をみると、**図 3-2** 及び**表 3-1** のとおりである。中間処理業者の処理量 3,063 千トンのうち、がれき類が最も多くなっており、全体の 52% を占めている。

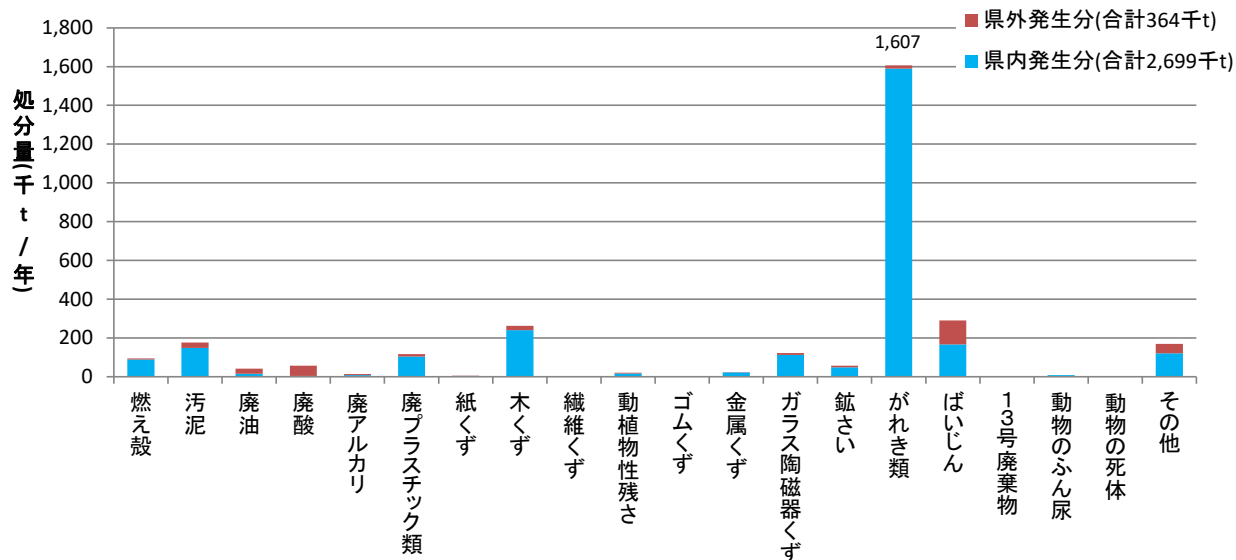


図 3-2 県内の中間処理業者の種類別処分実績

2 県内の最終処分業者の処分実績

最終処分業者の最終処分量を産業廃棄物の種類別にみると、**図 3-3** 及び**表 3-1** のとおりである。

最終処分業者の最終処分量 411 千トンのうち、ばいじんが最も多く、以下、がれき類、燃え殻、廃プラスチック類、汚泥の順となっており、この 5 種類で全体の 84% を占めている。

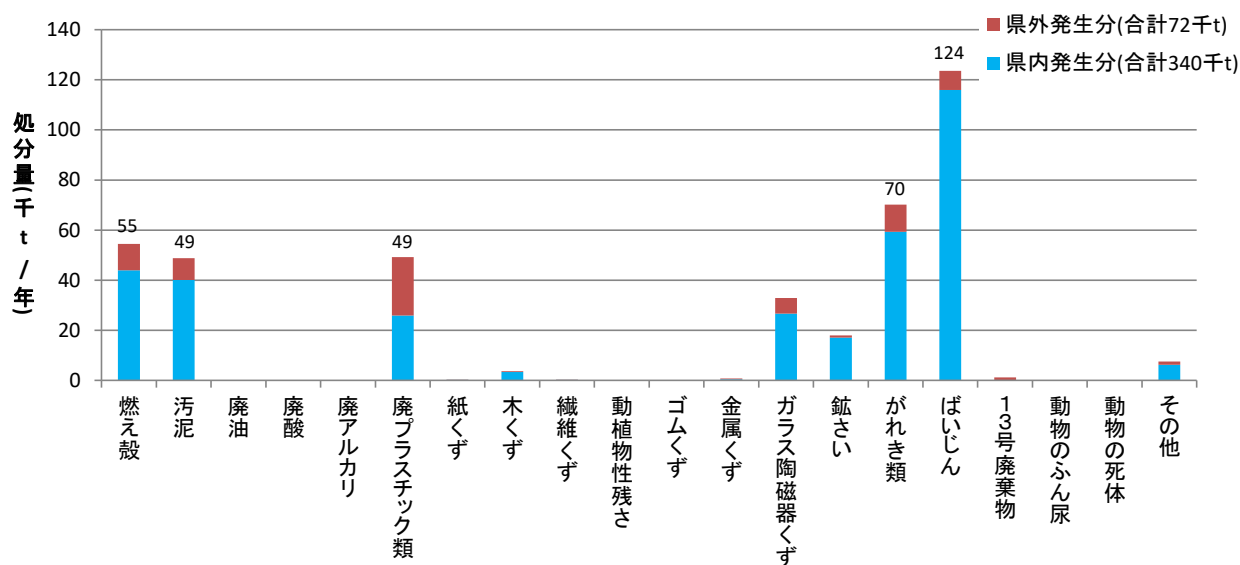


図 3-3 県内の最終処分業者の種類別処分実績

3 県外へ搬出された産業廃棄物の処分実績（収集運搬者実績報告より）

県内へ搬出された産業廃棄物の処分量を種類別にみると図 3-4 及び表 3-1 のとおりである。

県外へ搬出された産業廃棄物 1,516 千トンのうち、ばいじんが全体の 59%を占めている。

なお、県外へ搬出されたばいじんのほとんどはセメント原料などに資源化されている。

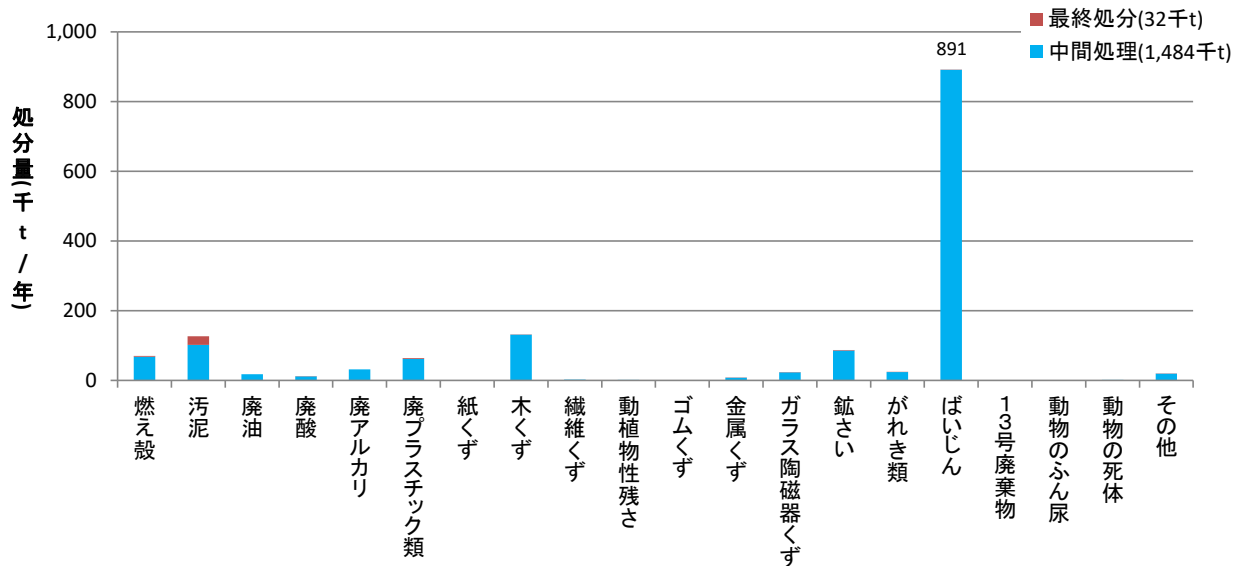


図 3-4 県外へ搬出された産業廃棄物の種類別処分実績

3.2 産業廃棄物処理業者の中間処理

県内の中間処理施設で処理された実績量を処理地区別及び委託元である発生地区別にみると、**図 3-5**、**図 3-6** 及び**表 3-2**、**表 3-3** のとおりである。

県内の中間処理業者の中間処理量 3,063 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 914 千トンで最も多く、以下、郡山市が 510 千トン、相双地区が 403 千トン、県北地区が 350 千トン、会津地区が 301 千トン、県南地区が 261 千トン、県中地区が 241 千トン等となっている。**(図 3-5、表 3-2)**

県内の中間処理施設で処理された実績量を委託元である発生地区別にみると、県内では、いわき市が 553 千トンで最も多く、以下、相双地区が 551 千トン、郡山市が 393 千トン、県北地区が 294 千トン、県南地区が 211 千トン、県中地区が 194 千トン、会津地区が 187 千トン等となっている。**(図 3-6、表 3-3)**

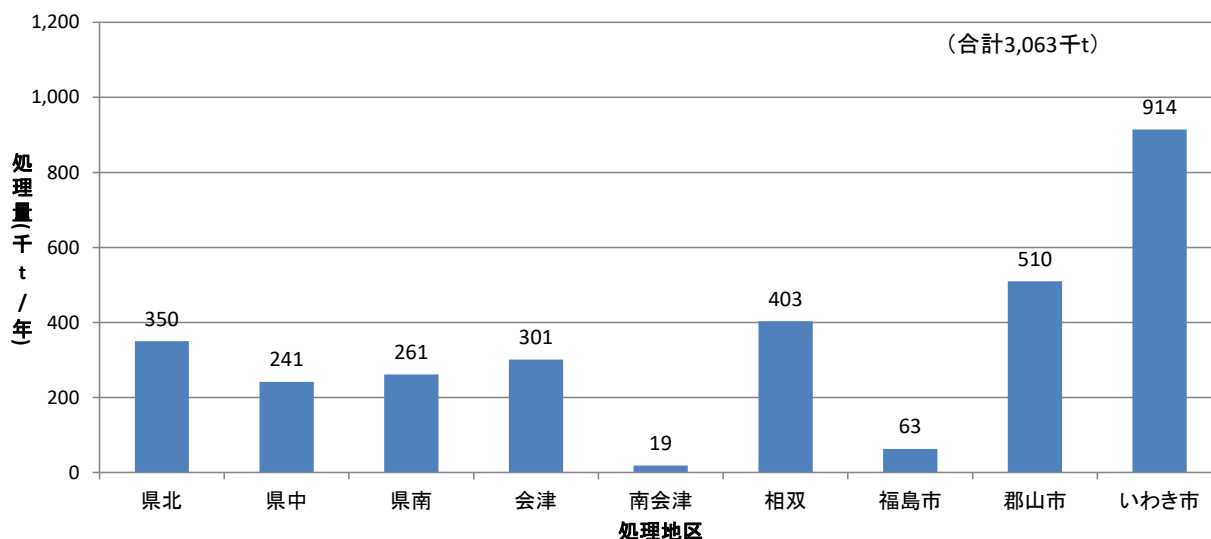
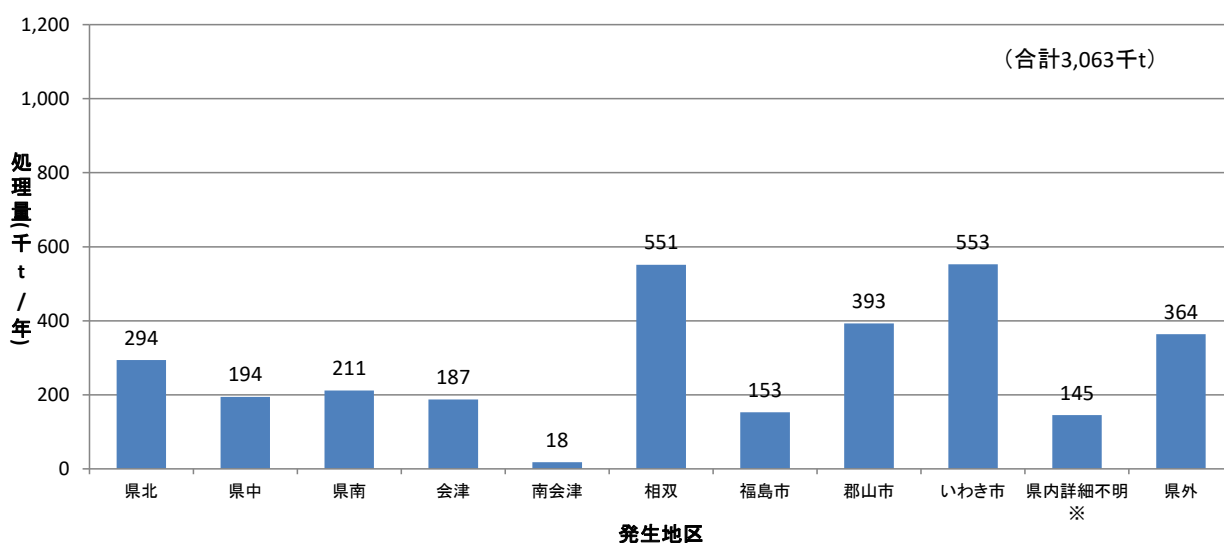


図 3-5 処理地区別の中間処理量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの。

図 3-6 発生地区別の中間処理量

表 3-2 県内の中間処理業者の処理地区別処分実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

（単位：t/年）

種類	処理地区 県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市
合計	3,062,930	350,303	241,451	261,348	301,062	18,735	403,261	62,698	509,855	914,218
燃え殻	94,646		2,746		127		81,631	3,839	2,331	3,972
汚泥	176,202	10,713	18,419	6,523	22,558		22,142	7,410	61,495	26,942
廃油	41,329	590		1,626	17,276		90		5,150	16,597
廃酸	57,262		3	2,031	1,478		205		831	52,714
廃アルカリ	14,295			327	4,951		10			9,007
廃プラスチック類	116,007	30,593	11,825	6,388	12,527	92	10,281	5,672	20,813	17,815
紙くず	3,556	57	1,208	225	100	13	230	254	1,159	310
木くず	262,689	10,682	67,355	43,956	40,457	927	7,588	8,515	13,764	69,446
繊維くず	1,542	140	20	61	125	9	187	317	217	466
動植物性残さ	20,533	5,385	8,313	4,345	21		116	2,078	109	167
動物系固形不要物										
ゴムくず	13									13
金属くず	23,427	295	10,246	807	804	91	875	349	6,665	3,295
ガラス陶磁器くず	121,522	8,328	4,366	15,741	10,072	592	12,149	6,394	17,775	46,105
鉱さい	56,687	8,199	1,138	8,702	18		149	2,078	17,581	18,822
がれき類	1,606,845	267,506	104,195	170,617	123,322	16,967	231,660	4,130	350,993	337,456
ばいじん	289,771		10,066		44,240		34,565	7,537	4,350	189,013
13号廃棄物										
動物のふん尿	7,871	7,813	57							
動物の死体	0									0
その他	168,734		1,494		22,987	45	1,382	14,126	6,621	122,078
感染性廃棄物	11,586				2,182		200		84	9,120
混合廃棄物	150,761		1,494		17,843	45	1,182	14,126	6,537	109,534
その他	6,387				2,962					3,425

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	3,062,930 (100.0%)	293,777 (9.6%)	194,110 (6.3%)	211,448 (6.9%)	187,356 (6.1%)	17,859 (0.6%)	551,374 (18.0%)	153,126 (5.0%)	392,650 (12.8%)	552,749 (18.0%)	144,945 (4.7%)	297 (0.0%)	418 (0.0%)	3,622 (0.1%)	61,765 (2.0%)
燃え殻	94,646	2	9		323		84,238	1	67	4,047					343
汚泥	176,202	12,962	6,533	8,282	12,382	721	10,156	11,147	63,963	22,462	121	52	2	45	884
廃油	41,329	1,071	1,073	886	1,460	66	646	1,009	2,558	6,130	591	0	20	1,113	836
廃酸	57,262	592	222	294	1,265	26	242	66	161	1,533		0	0	1,822	620
廃アルカリ	14,295	440	263	85	1,780	10	1,200	71	658	3,550			4	4	739
廃プラスチック類	116,007	14,919	9,344	5,812	6,200	545	20,114	10,624	19,675	15,145	1,711	0	6	135	2,833
紙くず	3,556	273	525	360	197	28	383	362	991	385	1				41
木くず	262,689	17,331	33,194	15,237	20,377	2,379	13,829	23,367	29,809	71,135	14,152	2			2,273
繊維くず	1,542	99	59	77	189	35	222	241	165	451	4				
動植物性残さ	20,533	2,422	1,971	1,362	64		20	3,472	6,396	231					1,150
動物系固形不要物															
ゴムくず	13		2							11					
金属くず	23,427	1,656	3,879	2,426	1,035	164	2,053	1,923	6,452	3,176	11		16	80	287
ガラス陶磁器くず	121,522	9,884	9,316	8,896	5,861	569	18,668	7,025	15,378	32,835	3,479	0	1	191	3,269
鉱さい	56,687	6,442	1,577	9,019	289		9,880	21	53	20,559	3				2,987
がれき類	1,606,845	214,124	120,577	157,529	125,004	13,179	269,520	84,809	238,165	315,221	51,994			180	11,407
ばいじん	289,771			44	1,866	1	115,898			48,412			343		30,823
13号廃棄物															
動物のふん尿	7,871	7,813	57												
動物の死体	0		0	0					0						
その他	168,734	3,748	5,508	1,138	9,062	137	4,307	8,988	8,157	7,468	72,878	242	25	51	3,273
感染性廃棄物	11,586	359	186	186	605	29	214	1,194	1,137	1,149		0	22		1,147
混合廃棄物	150,761	3,387	5,315	949	8,425	104	2,786	7,764	7,005	5,015	71,270				1,731
その他	6,387	2	6	3	33	4	1,307	31	15	1,304	1,608	242	4	51	395

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計	1,392 (0.0%)	4,865 (0.2%)	-	99,370 (3.2%)	34,465 (1.1%)	23,711 (0.8%)	45,308 (1.5%)	19,102 (0.6%)	11,812 (0.4%)	9,489 (0.3%)	29,870 (1.0%)	6,800 (0.2%)	156 (0.0%)	140 (0.0%)	516 (0.0%)	857 (0.0%)	73 (0.0%)
燃え殻		428	-	1,372	1,729	872	56	322	326	23	485						
汚泥	862	506	-	2,545	2,094	4,787	3,196	1,384	258	716	7,531	462	59	62	36	259	38
廃油	1	742	-	3,297	935	3,943	1,091	2,759	991	1,605	5,676	599	65	77	39	47	8
廃酸	0	1,034	-	47,621	211	15	173	354	63	248	115	17	3	1	127	1	2
廃アルカリ	5	161	-	2,729	370	58	83	506	38	669	173	13	3	1	280	1	1
廃プラスチック類	1	264	-	1,586	1,308	71	1,300	1,224	1,094	1,217	602	90	26	0	2	47	20
紙くず			-	5	2				1								
木くず	25	73	-	4,205	2,934	183	8,222	2,251	827	98	581						
繊維くず			-		0				0								
動植物性残さ			-	23	4		3,323	81							11		
動物系固形不燃物			-														
ゴムくず			-														
金属くず	19	13	-	90	36	3	12	2	8	49	4	1			0	1	3
ガラス陶磁器くず		111	-	2,913	813	1,120	462	23	277	172	249				0	3	1
鉱さい		185	-	2,401	167	458	1,996	14	106		530						
がれき類		133	-	1,116	2,915	151	35	70	563		153						
ばいじん	477	1,131	-	22,492	14,194	3,079	16,630	5,562	5,862	3,320	12,225	4,885				4	
13号廃棄物			-														
動物のふん尿			-														
動物の死体			-														
その他	2	85	-	6,975	6,752	8,971	8,729	4,550	1,398	1,372	1,547	734			19	494	
感染性廃棄物	2	50	-	2,873	928	10	346	53	493	352	201				19		
混合廃棄物		0	-	3,897	5,781	8,959	8,346	4,071	857	915	1,272	721				482	
その他		35	-	204	43	2	36	426	49	105	74	13			0	12	

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区別実績																
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
合計	3,321 (0.1%)	2,935 (0.1%)	1,177 (0.0%)	148 (0.0%)	32 (0.0%)	1,236 (0.0%)	620 (0.0%)	14 (0.0%)	11 (0.0%)			5 (0.0%)	5 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	2 (0.0%)
燃え殻	2																
汚泥	151	137	904	110	11	157	210	2	6				4	1		0	1
廃油	900	255	24	6	16	433	344	7	5			5	0			0	
廃酸	343	11	1	10	1	55	14	1									
廃アルカリ	138	8	131	1	2	77	42	3							1		
廃プラスチック類	27	14	37	10	0	0	0	1									1
紙くず		0															
木くず		200	2														
繊維くず																	
動植物性残さ	4																
動物系固形不燃物																	
ゴムくず																	
金属くず	6	17				1	3	0					0				0
ガラス陶磁器くず	2	4		0				0									
鉱さい																	
がれき類																	
ばいじん	2	2,268	13	10		232											
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他	1,746	22	66		2	281	7	0									
感染性廃棄物	30				1												
混合廃棄物	1,710	0															
その他	6	22	66		1	281	7	0									

表3-3 県内の中間処理業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞
 (単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区別実績										
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明	
合計	0 (0.0%)				1 (0.0%)	0 (0.0%)			0 (0.0%)		
燃え殻											
汚泥	0										
廃油					0						
廃酸											
廃アルカリ						0					
廃プラスチック類											
紙くず											
木くず											
繊維くず											
動植物性残さ											
動物系固形不要物											
ゴムくず											
金属くず									0		
ガラス陶磁器くず											
鉱さい											
がれき類											
ばいじん											
13号廃棄物											
動物のふん尿											
動物の死体											
その他					1						
感染性廃棄物					0						
混合廃棄物											
その他					1						

3.3 県内の産業廃棄物処理業者の最終処分

最終処分場で処分された実績量を処理地区別にみると、**図 3-7**、**図 3-8** 及び**表 3-4**、**表 3-5** のとおりである。

県内の最終処分業者の最終処分量 411 千トン进行处理地区別にみると、いわき市が 142 千トンで最も多く、以下、相双地区が 120 千トン、福島市が 109 千トン等となっている。**(図 3-7、表 3-4)**

県内の最終処分場で処分された実績量を委託元である発生区別にみると、相双地区が 147 千トンで最も多く、以下、県外が 72 千トン、いわき市が 67 千トン、福島市が 33 千トン、郡山市が 31 千トン、会津地区が 30 千トン、県中地区が 11 千トン等となっている。**(図 3-8、表 3-5)**

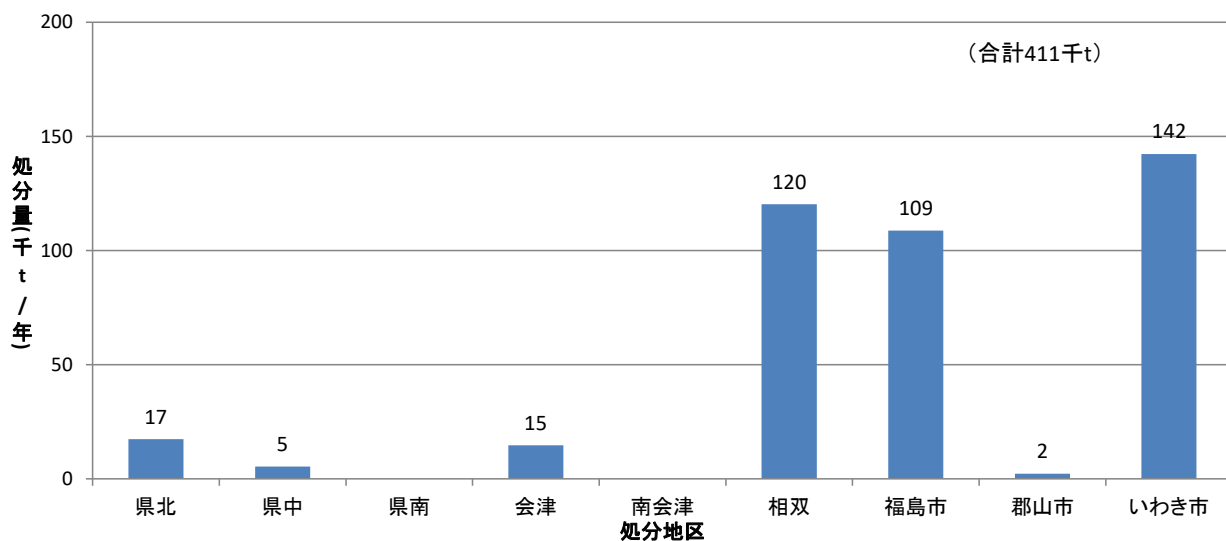
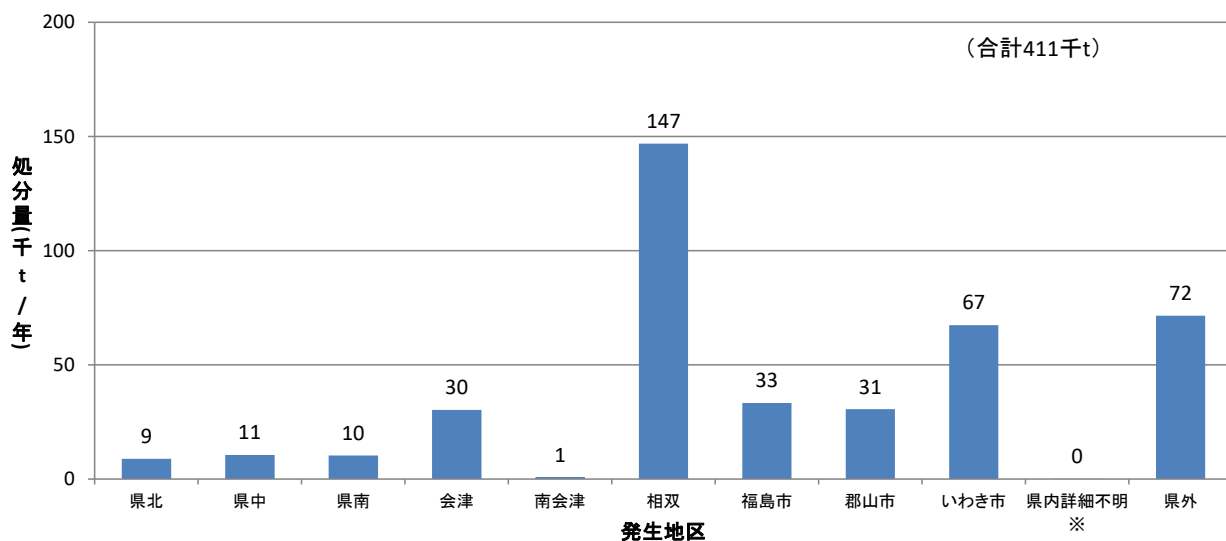


図 3-7 処分地区別の県内の最終処分業者による処分量



※県内詳細不明は、委託者の所在地が特定できなかったもの

図 3-8 発生地区別の最終処分業者による処分量

表 3-4 県内の最終処分業者の処分地区別処分実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）

（単位：t/年）

種類	処分地区	県内計									
		県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	
合計		411,026	17,426	5,390		14,667		120,263	108,767	2,246	142,267
燃え殻		54,522				5,278		23,373	15,129	17	10,725
汚泥		48,798	7,026			2,039		2,993	21,581	1,734	13,426
廃油											
廃酸											
廃アルカリ											
廃プラスチック類		49,229	406	2,617		12		7	2,667	250	43,270
紙くず		324							323		0
木くず		3,700							3,600	2	97
繊維くず		309							309		
動植物性残さ		4				4					
動物系固形不要物											
ゴムくず		6							6		
金属くず		812	1	3		8		0	317	15	468
ガラス陶磁器くず		32,879	2,770	1,128		639		0	4,875	8	23,459
鉱さい		17,951	4,674			1,824			8,883	211	2,359
がれき類		70,165	2,549	1,611		288		56	36,666	9	28,987
ばいじん		123,534				381		93,835	13,164		16,155
13号廃棄物		1,267							1,247		20
動物のふん尿											
動物の死体											
その他		7,527		32		4,193			0		3,301
	感染性廃棄物										
	混合廃棄物	7,296		32		3,963					3,301
	その他	231				231			0		

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その1＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	県内計										県外計				
	物流計	県北	県中	県南	会津	南会津	相双	福島市	郡山市	いわき市	県内地域 詳細不明	北海道	青森県	岩手県	宮城県
合計	411,026 (100.0%)	339,515 (82.6%)	8,927 (2.2%)	10,588 (2.6%)	10,388 (2.5%)	30,272 (7.4%)	910 (0.2%)	146,896 (35.7%)	33,371 (8.1%)	30,634 (7.5%)	67,450 (16.4%)	71,511 (17.4%)	0 (0.0%)	876 (0.2%)	4,420 (1.1%)
燃え殻	54,522	43,926	118	97	835	7,457	4	24,569	399	2,524	7,923	10,596		370	94
汚泥	48,798	40,082	1,257	3,346	1,245	5,162	299	7,604	2,580	5,903	12,606	8,716		303	
廃油															
廃酸															
廃アルカリ															
廃プラスチック類	49,229	25,920	883	2,715	1,918	633	71	4,882	2,206	2,752	9,860	23,309			1,526
紙くず	324	222	48	0	1	1	2	168	2	2	0	102			1
木くず	3,700	3,365	654	2	4	4	100	2,008	597	597	0	335		146	46
繊維くず	309	250	168			4	2	79	2	2		59			1
動植物性残さ	4	4													
動物系固形不要物															
ゴムくず	6	6							6						
金属くず	812	462	16	6	178	3	0	43	76	33	107	350			3
ガラス陶磁器くず	32,879	26,632	694	1,701	1,292	1,246	172	5,429	2,259	6,675	7,164	6,246			145
鉱さい	17,951	17,085	720	113	461	10,706	172	4,609	106	155	44	866		58	
がれき類	70,165	59,350	4,253	1,763	1,869	1,491	185	4,097	23,330	11,494	10,868	10,815	0		1,355
ばいじん	123,534	115,930		668	2,580	1,424		94,411	129	2	16,716	7,605			1,249
13号廃棄物	1,267											1,267			
動物のふん尿															
動物の死体															
その他	7,527	6,280	116	176	9	2,143	8	1,148	26	494	2,161	1,246			
感染性廃棄物															
混合廃棄物	7,296	6,050	113	172		2,123	0	1,093		406	2,142	1,246			
その他	231	231	3	4	9	20	8	55	26	87	19				

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その2＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																
	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県
合計		513 (0.1%)	-	5,204 (1.3%)	11,364 (2.8%)	16,631 (4.0%)	17,054 (4.1%)	2,399 (0.6%)	4,940 (1.2%)	5,743 (1.4%)	1,004 (0.2%)				3 (0.0%)	1,347 (0.3%)	
燃え殻			-	255	2,611	782	4,902	339	35	688	520						
汚泥			-	2,240	149	1,670	3,060		1,141	93	59						
廃油			-														
廃酸			-														
廃アルカリ			-														
廃プラスチック類		47	-	605	1,003	10,429	2,588	775	1,868	4,018					449		
紙くず		8	-	24	69												
木くず		28	-	24	91												
繊維くず			-		58												
動植物性残さ			-														
動物系固形不燃物			-														
ゴムくず			-														
金属くず		7	-	24	316												
ガラス陶磁器くず		59	-	882	1,445	1,066	998	6	1,158	190	198					99	
鉱さい			-		576	54	145				33						
がれき類		232	-	518	2,565	319	3,910	4	739	172	194				3	798	
ばいじん		133	-	505	1,347	1,198	1,451	1,275		448							
13号廃棄物			-		1,133					134							
動物のふん尿			-														
動物の死体			-														
その他			-	127		1,113			0								
感染性廃棄物			-														
混合廃棄物			-	127		1,113			0								
その他			-														

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その3＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区																
	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県
合計						13 (0.0%)											
燃え殻																	
汚泥																	
廃油																	
廃酸																	
廃アルカリ																	
廃プラスチック類						0											
紙くず																	
木くず																	
繊維くず																	
動植物性残さ																	
動物系固形不要物																	
ゴムくず																	
金属くず																	
ガラス陶磁器くず						0											
鉱さい																	
がれき類						6											
ばいじん																	
13号廃棄物																	
動物のふん尿																	
動物の死体																	
その他						6											
感染性廃棄物																	
混合廃棄物						6											
その他																	

表3-5 県内の最終処分業者の発生地区別実績（産業廃棄物処分実績報告データの集計結果）＜その4＞

(単位：t/年)

発生地区 種類	発生地区									
	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	県外不明
合計										
燃え殻										
汚泥										
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類										
紙くず										
木くず										
繊維くず										
動植物性残さ										
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず										
ガラス陶磁器くず										
鉱さい										
がれき類										
ばいじん										
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他										
感染性廃棄物										
混合廃棄物										
その他										

第4章 産業廃棄物多量排出事業者の排出・処理実績

4.1 多量排出事業者等における報告状況

多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告書の報告数をみると、表 4-1 及び表 4-2 のとおりである。

多量排出事業者の実施報告は 353 事業者、指定排出事業者の実績報告は 21 業者となっている。また、その他年間の発生量が 500 t 未満の事業者の報告が 32 件あった。

表 4-1 多量排出事業者等における報告状況（令和 3 年度実績）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者											(報告数)	
	計	産業廃棄物多量排出事業場					特別管理産業廃棄物多量排出事業場					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者	その他
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市		
農業・林業													
漁業													
鉱業													
建設業	141	139	98	11	14	16	2	2				8	4
製造業	169	100	57	8	7	28	69	35	4	8	22	13	20
電気・ガス・ 水道業	29	26	15	1	3	7	3	2			1		
情報通信業	1	1	1										
運輸・郵便業													
卸・小売業													
金融・保険業													
不動産業・ 物品賃貸業													
専門サービス業													
宿泊業・ 飲食サービス業													
生活関連 サービス業													1
教育・学習 支援業													
医療・福祉業	13						13	5	3	3	2		7
複合サービス業													
サービス業													
公務													
計	353	266	171	20	24	51	87	44	7	11	25	21	32

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

多量排出事業者における令和 4 年度の発生量の目標値の報告数は表 4-2 のとおりであり、産業廃棄物に係るものが 238 事業者、特別管理産業廃棄物に係るものが 80 事業者の合計 318 事業者となっている。

表 4-2 多量排出事業者等における目標値の報告状況（令和 4 年度）

	廃棄物処理法に基づく多量排出事業者										(報告数)	
	計	産業廃棄物多量排出事業場					特別管理産業廃棄物多量排出事業場					適正化条 例に基づ く指定排 出事業者
		小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	小計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	
農業・林業												
漁業												
鉱業												
建設業	113	113	81	8	13	11						18
製造業	165	98	57	7	5	29	67	36	3	8	20	11
電気・ガス・ 水道業	26	26	15	1	3	7						
情報通信業	2	1	1				1	1				
運輸・郵便業												
卸・小売業												
金融・保険業												
不動産業・ 物品賃貸業												
専門サービス業												
宿泊業・ 飲食サービス業												
生活関連 サービス業												
教育・学習 支援業												
医療・福祉業	12						12	4	3	3	2	
複合サービス業												
サービス業												
公務												
計	318	238	154	16	21	47	80	41	6	11	22	29

*同一の事業場であっても、産業廃棄物と特別管理産業廃棄物を別々に集計してある。

4.2 産業廃棄物多量排出事業者等の属性

令和3年度における多量排出事業者の実施報告及び指定排出事業者の実績報告で集計した排出量（発生量－有償物量）をみると、**図4-1**、**図4-2**、**表4-3**、**表4-4**のとおりである。

排出量5,871千トンを種類別にみると、汚泥が最も多く、以下、ばいじん、がれき類等となっている。（**図4-1**、**表4-3**）

排出量を業種別にみると、製造業が最も多く、以下、電気・ガス・水道業、建設業等となっている。（**図4-2**、**表4-4**）

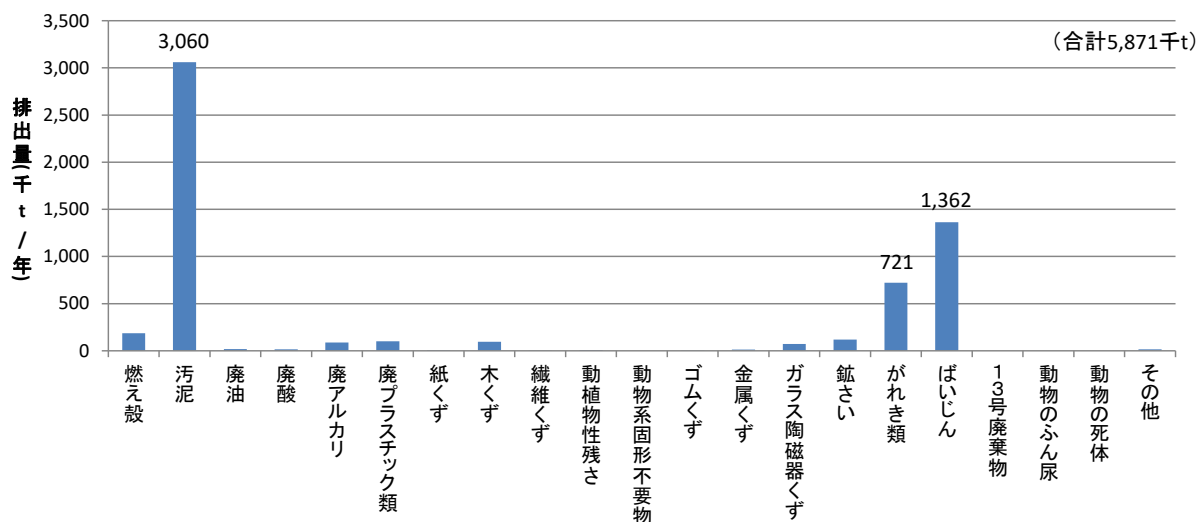


図4-1 多量排出事業者等の種類別の産業廃棄物排出量

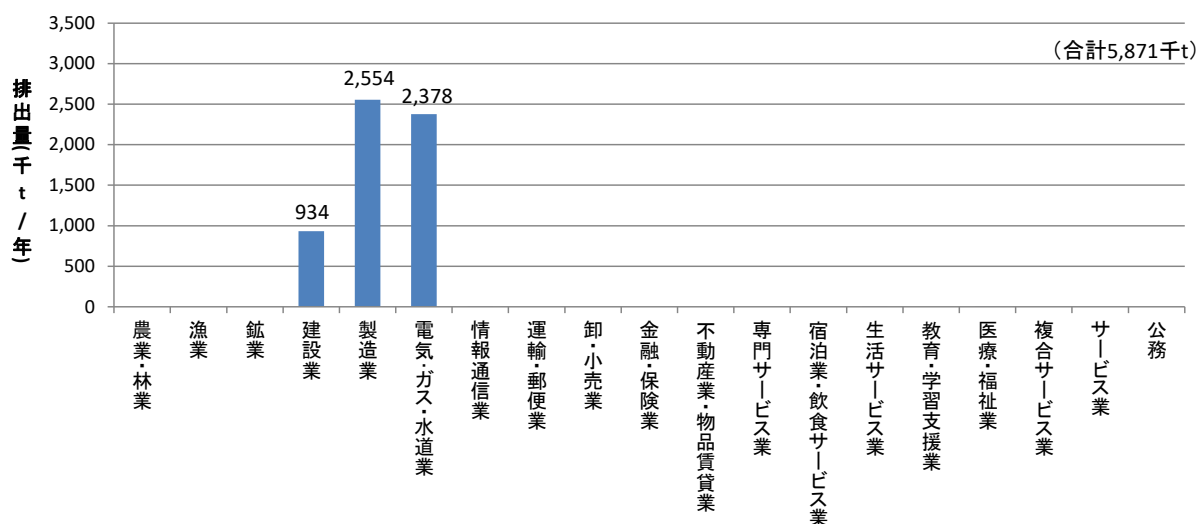


図4-2 多量排出事業者等の業種別の産業廃棄物排出量

表4-3 産業廃棄物の種類別にみた多量排出事業者等の発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

種類	処理・処分									
	排出量	有償物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	自社処理					委託 処理量
中間処理量					減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処 分量		
合計	5,871 (100.0%)	201 (3.3%)	51 (0.8%)	213 (3.5%)	3,026 (49.8%)	2,826 (46.6%)	200 (3.3%)	35 (0.6%)	48 (0.8%)	2,697 (44.4%)
燃え殻	186	3	9	52						125
汚泥	3,060	123	35	0	2,872	2,713	159	0	48	263
廃油	19	1			2	2				17
廃酸	14	0	1		3	3	0	0		11
廃アルカリ	88		0		55	53	1	1		34
廃プラスチック類	100	3		0	55	52	4	3		45
紙くず	4	3			1	0	1	1		2
木くず	95	22			2	1	0	0		93
繊維くず	1				0	0	0	0		1
動植物性残さ	6									6
動物系固形不要物										
ゴムくず	0									0
金属くず	12	7	4	0	0		0	1		7
ガラス陶磁器くず	72	0	0	1	5	0	5	5		66
鉱さい	118	2			21		21	16		101
がれき類	721		2	1	10	2	8	8		708
ばいじん	1,362	37		159	0	0	0	0		1,203
13号廃棄物										
動物のふん尿										
動物の死体										
その他	15				0	0				15
感染性廃棄物	2									2
混合廃棄物	11				0	0				11
その他	2									2

表4-4 業種別にみた多量排出事業者等の産業廃棄物発生量及び処理・処分量

(単位：千t/年)

処理・処分 種類	自社処理									委託 処理量
	排出量	有償物量	直接再生 利用量	直接最終 処分量	中間処理量	減量化量	残さ量	中間処理 後の自己 利用・売 却量	中間処理 後の自己 最終処 分量	
合計	5,871 (100.0%)	201 (3.3%)	51 (0.8%)	213 (3.5%)	3,026 (49.8%)	2,826 (46.6%)	200 (3.3%)	35 (0.6%)	48 (0.8%)	2,697 (44.4%)
農業・林業										
漁業										
鉱業										
建設業	934	22	2	1	12	4	8	9		918
製造業計	2,554	15	40	1	2,185	2,062	123	26	48	377
食料品	21				12	10	1			11
飲料・飼料	3									3
繊維										
木材	1									1
家具										
パルプ・紙	1,479	3			1,456	1,422	34	3		54
印刷	11	4			6	5	2	1		5
化学	650	1	35	1	540	489	51		46	78
石油・石炭										
プラスチック	1									1
ゴム										
皮革										
窯業・土石	85	0	0		15	9	6	5	0	70
鉄鋼	14									14
非鉄金属	82		0		70	67	3	0		15
金属	3	0			0	0	0			3
はん用機器	1									1
生産用機器										
業務用機器	5									5
電子部品	26		1	0	14	12	2		2	12
電気機器	44				29	27	2	1		17
情報通信機器	20	1			19	19	1			1
輸送用機器	108	7	4		22	1	21	16		87
その他製造業	0									0
電気・ガス・水道業	2,378	164	9	211	829	761	69	0		1,397
電気業	1,554	164	9	211	8	8	1			1,326
ガス業										
熱供給業										
上水道業	63				60	58	3	0		5
工業用水道業										
下水道業	760				760	695	65	0		65
情報通信業	2									2
運輸・郵便業										
卸・小売業										
金融・保険業										
不動産業・物品賃貸業										
専門サービス業										
宿泊業・飲食サービス業										
生活サービス業	0	0			0	0	0			0
教育・学習支援業										
医療・福祉業	3									3
複合サービス業										
サービス業										
公務										
その他										

第5章 産業廃棄物の処理状況

5.1 再生利用の状況

1 再生利用量

排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量は、表 5-1 及び図 5-1 のとおりであり、種類別（再生利用時点の種類）にみると、がれき類が 1,561 千トン（42%）と最も多く占め、以下、ばいじんが 1,050 千トン（28%）、木くずが 251 千トン（7%）、燃え殻が 240 千トン（6%）となっている。

業種別にみると、建設業が 1,958 千トン（53%）と最も多く占め、以下、電気・ガス・水道業が 1,261 千トン（34%）、製造業が 362 千トン（10%）等となっている。

表 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

(単位：千t/年)

業種 再生利用 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	3,723 (100%)	64 (2%)	1,958 (53%)	362 (10%)	1,261 (34%)	5 (0%)	7 (0%)	3 (0%)	48 (1%)	15 (0%)
燃え殻	240 (6%)		1	64	174	0	0	0	2	0
汚泥	232 (6%)	64	54	76	33	0	0	1	3	1
廃油	12 (0%)		0	5	0	0	0	0	6	0
廃酸	2 (0%)		0	2				0	0	0
廃アルカリ	2 (0%)		0	1		0	0	0	0	0
廃プラスチック類	96 (3%)	0	37	25	1	1	6	1	22	2
紙くず	3 (0%)		2	1						0
木くず	251 (7%)		249	2	0	0	0		0	0
繊維くず	3 (0%)		3							
動植物性残さ	17 (0%)			17						
動物系固形不要物										
ゴムくず										
金属くず	28 (1%)	0	13	7	0	0	0	0	7	1
ガラス陶磁器くず	106 (3%)	0	23	68	4	3	1	0	6	1
鉱さい	91 (2%)		1	54	36				0	0
がれき類	1,561 (42%)		1,561	0	0					
ばいじん	1,050 (28%)		0	37	1,013				0	0
動物のふん尿	8 (0%)									8
その他	21 (1%)		15	2	0	0	0	0	2	2

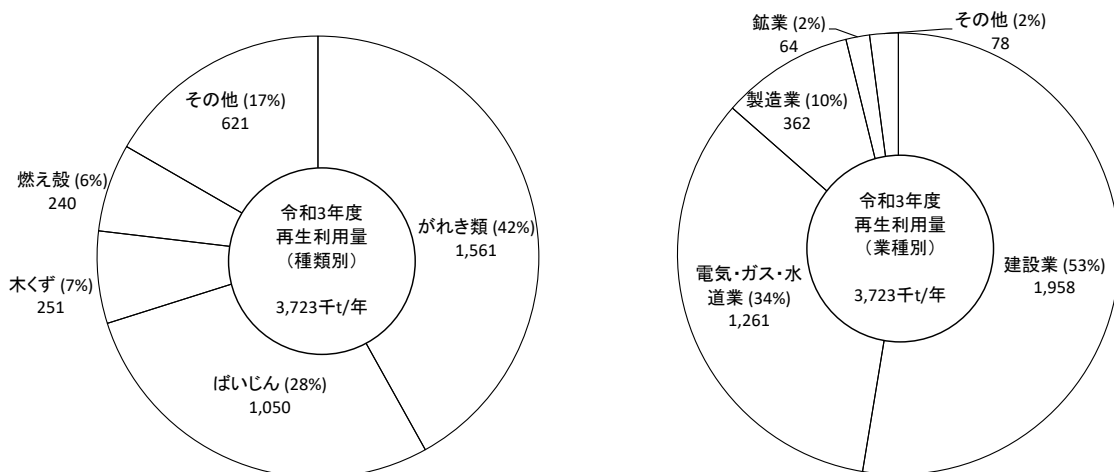


図 5-1 排出事業者の業種別、産業廃棄物の種類別の再生利用量

2 資源化状況の解析

産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データから処理状況を整理し産業廃棄物の種類ごとの資源化状況を整理した結果は、**図 5-2** 及び**表 5-2** のとおりである。

なお、ここでは、県内の中間処理業者で中間処理（県外搬入物を含む）、及び県外の中間処理業者で資源化されたものを以下の用途別に集計した。

資源化用途別にみると、建設資材が 1,928 千トンで最も多く、以下、工業用原料等が 1,250 千トン、セメント原料が 878 千トン、燃料が 87 千トン、堆肥化が 66 千トンとなっている。

① 工業用原料等（1,250 千トン）

汚泥、廃酸、廃プラスチック、木くず、鉱さい、ばいじん等を工業用原料として再使用又は、再生用途が多様で特定の用途に区分ができないもの及び詳細な用途が不明なもの。

② 建設資材（1,928 千トン）

がれき類等を破碎、選別等し、建設資材として資源化。

③ セメント原料（878 千トン）

セメント工場で原（燃）料として資源化。主に火力発電所のばいじん。

④ 堆肥化（66 千トン）

堆肥として資源化。主に有機性汚泥や動植物性残さ。

⑤ 燃料（87 千トン）

破碎・選別・圧縮等により燃料として資源化。主に廃プラスチック、木くず。

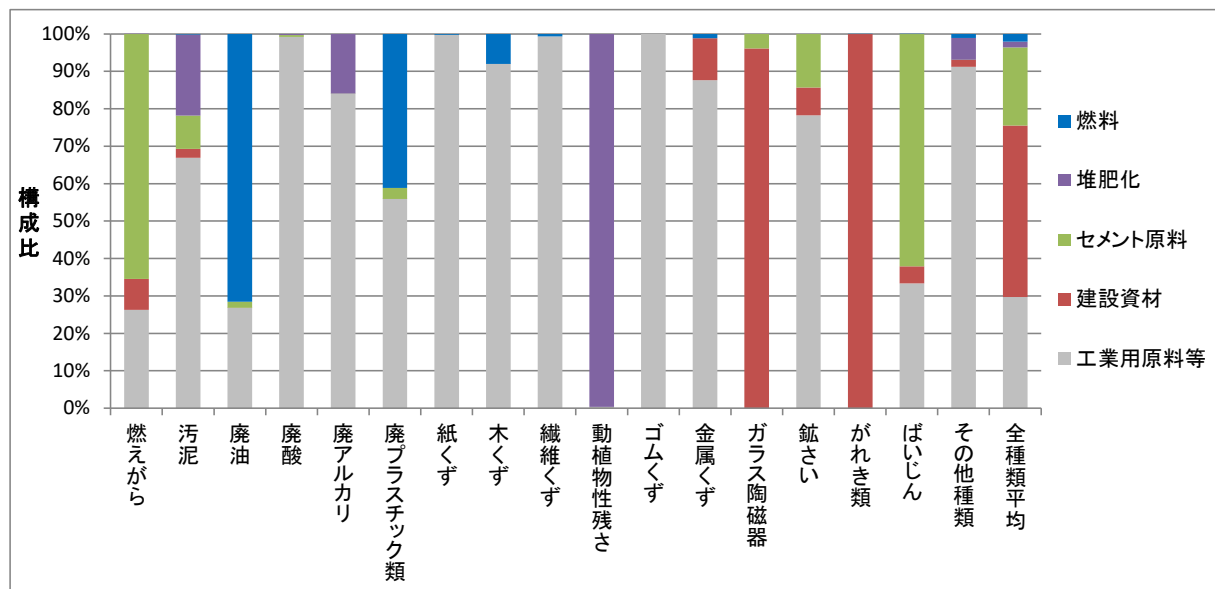


図 5-2 産業廃棄物の資源化の状況

表 5-2 種類別及び資源化用途別の資源化状況

(千t/年)

用途 種類	工業用原料等	建設資材	セメント原料	堆肥化	燃料	計
燃えがら	43	13	106	0		162
汚泥	107	4	14	35	0	160
廃油	4	0	0		9	13
廃酸	52		0	0		52
廃アルカリ	4		0	1		5
廃プラスチック類	64	0	3		47	115
紙くず	4				0	4
木くず	317			0	28	345
繊維くず	3				0	3
動植物性残さ	0			22		22
ゴムくず	0					0
金属くず	26	3			0	30
ガラス陶磁器	0	95	4			99
鉱さい	112	11	21			143
がれき類		1,746			0	1,746
ばいじん	392	53	729		0	1,174
その他種類	122	2	0	8	1	134
全種類平均	1,250	1,928	878	66	87	4,207

5.2 最終処分の状況

1 最終処分量

種類別及び業種別の産業廃棄物の最終処分量は、表 5-3 及び図 5-3 のとおりである。

種類別（処分時点の種類）にみると、ばいじんが 263 千トン（41%）と最も多く、以下、汚泥が 107 千トン（17%）、燃え殻が 99 千トン（15%）、がれき類が 59 千トン（9%）となっている。

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 352 千トン（55%）と最も多く、以下、建設業が 155 千トン（24%）、製造業が 104 千トン（16%）等となっている。

表 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

(単位：千t/年)

業種 処分 時点の種類	合計	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・水道業	運輸・郵便業	卸・小売業	医療・福祉業	サービス業	その他の業種
合計	643 (100%)	0 (0%)	155 (24%)	104 (16%)	352 (55%)	1 (0%)	1 (0%)	2 (0%)	25 (4%)	3 (0%)
燃え殻	99 (15%)		4	11	80	0	0	1	1	1
汚泥	107 (17%)		24	66	10	0	0	0	5	1
廃油										
廃酸										
廃アルカリ										
廃プラスチック類	30 (5%)	0	16	4	0	0	0	0	9	1
紙くず	1 (0%)		1	0						0
木くず	10 (1%)		9	0					0	0
繊維くず	1 (0%)		1							
動植物性残さ	0 (0%)			0						
動物系固形不要物										
ゴムくず	0 (0%)		0	0			0		0	
金属くず	1 (0%)	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ガラス陶磁器くず	39 (6%)		23	11	1	0	0	0	4	0
鉱さい	7 (1%)		0	3	4	0			0	0
がれき類	59 (9%)		59	0	0					
ばいじん	263 (41%)		0	6	256				0	0
動物のふん尿										
その他	26 (4%)		18	2	0	0	0	0	5	0

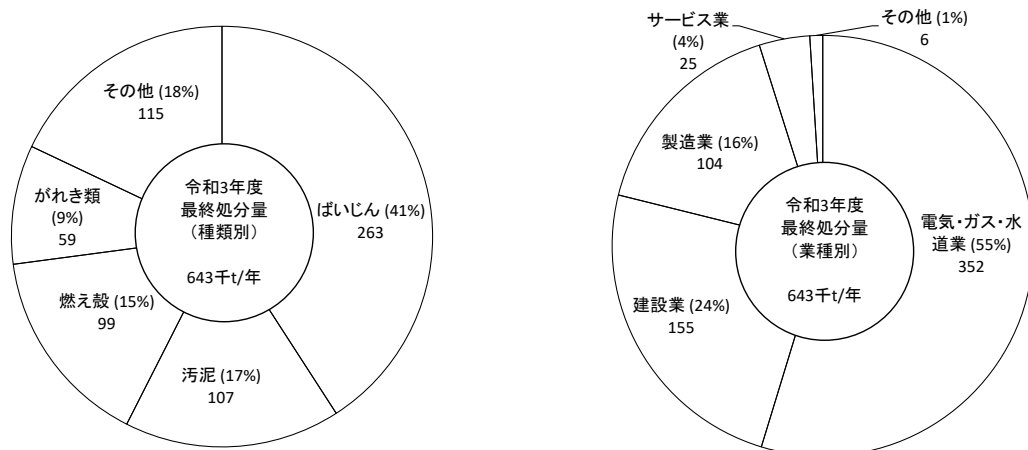


図 5-3 産業廃棄物の種類別、業種別の最終処分量

2 最終処分場残余年数の推計

県内の産業廃棄物処理業者から報告のあった最終処分場の残余容量と処分実績量の関係から、令和4年3月31日時点の最終処分場の残余年数を推計した結果は、以下のとおりである。

なお、残余年数の推計においては、自社処分場及び特定の事業場から排出された産業廃棄物のみを受け入れている最終処分場は除外した。

(1) 最終処分場の稼働状況

令和4年3月31日時点における最終処分場の稼働状況は、表5-4のとおりである。

最終処分場の残余容量がある施設は20施設であり、管理型が8施設、安定型が12施設となっている。

これらの残余容量は、3,652千m³となっており、管理型が2,227千m³、安定型が1,425千m³となっている。

表 5-4 最終処分場の稼働状況（令和4年3月31日時点）

	計	県北地区	県中地区	県南地区	会津地区	南会津地区	相双地区	福島市	郡山市	いわき市
施設数 計	20	2	2		1		2	4	1	8
管理型	8	1	1		1			2	1	2
安定型	12	1	1				2	2		6
残余容量 計(千m ³)	3,651.8	6.7	383.9		286.3		284.1	1,229.9	12.8	1,448.2
管理型	2,227.2	5.9	201.9		286.3			1,100.1	12.8	620.2
安定型	1,424.6	0.8	181.9				284.1	129.9		827.9

(2) 最終処分場の残余年数の推計

令和4年3月31日時点の残余容量と当該最終処分場の令和3年度処分実績量は図5-4のとおりである。各最終処分場の許可上の容量から算出される、令和4年3月31日現在の残余容量を用いて計算した。

既存の最終処分場での令和3年度処分実績量と同等量が今後も最終処分されるものと仮定し残余年数を推計すると、管理型で12.5年、安定型で13.5年となっている。

なお、ここでの埋立廃棄物の比重は、1t/m³と設定している。

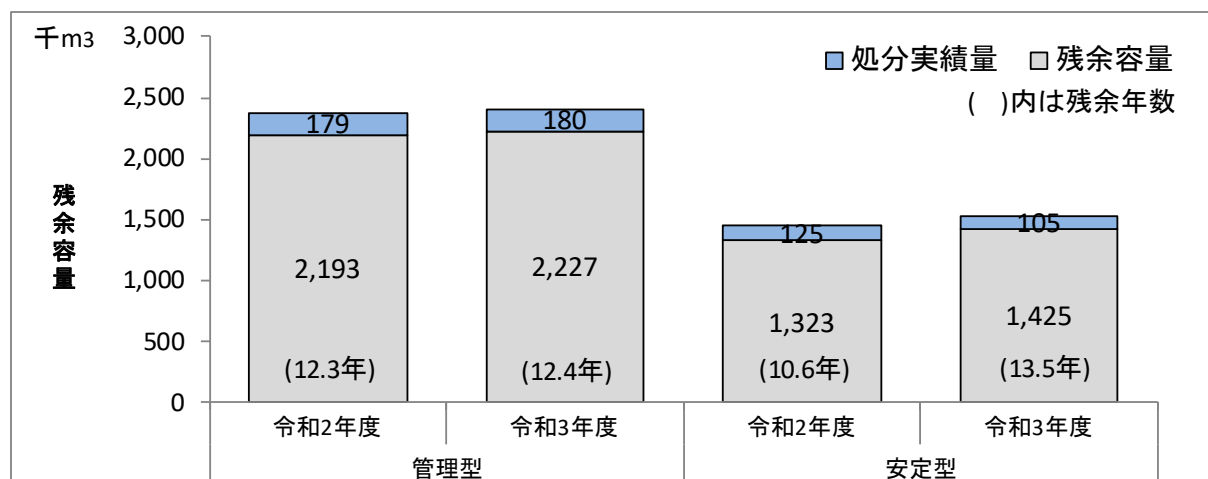
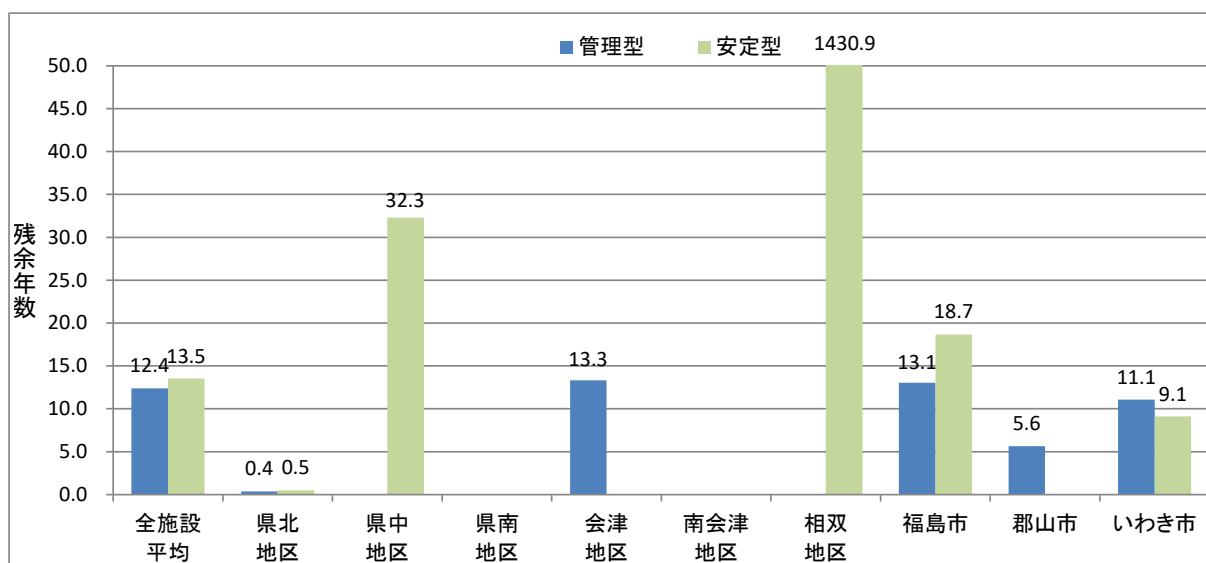


図 5-4 最終処分場の残余年数の推計 (実績量基準)

また、地区別の残余年数をみると図 5-5 のとおりである。残余年数は地区ごとに偏りがみられる。



※県中地区は、管理型最終処分場はあるが令和3年度に最終処分されていないため残余年数は示していない。

図 5-5 地区別の最終処分場の残余年数の推定（令和3年度の最終処分実績を基準）

福島県廃棄物処理計画（令和4年1月）では、令和元年度の最終処分率7%を令和8年度に6%以下とする削減目標を設定しているが、令和3年度の最終処分率は9%と目標を達成していない。

令和3年度以降の最終処分量が令和3年度と同等量で推移すると仮定すると、既存の最終処分場の残余年数は前述のとおり管理型で12.4年、安定型で13.5年と推計される。

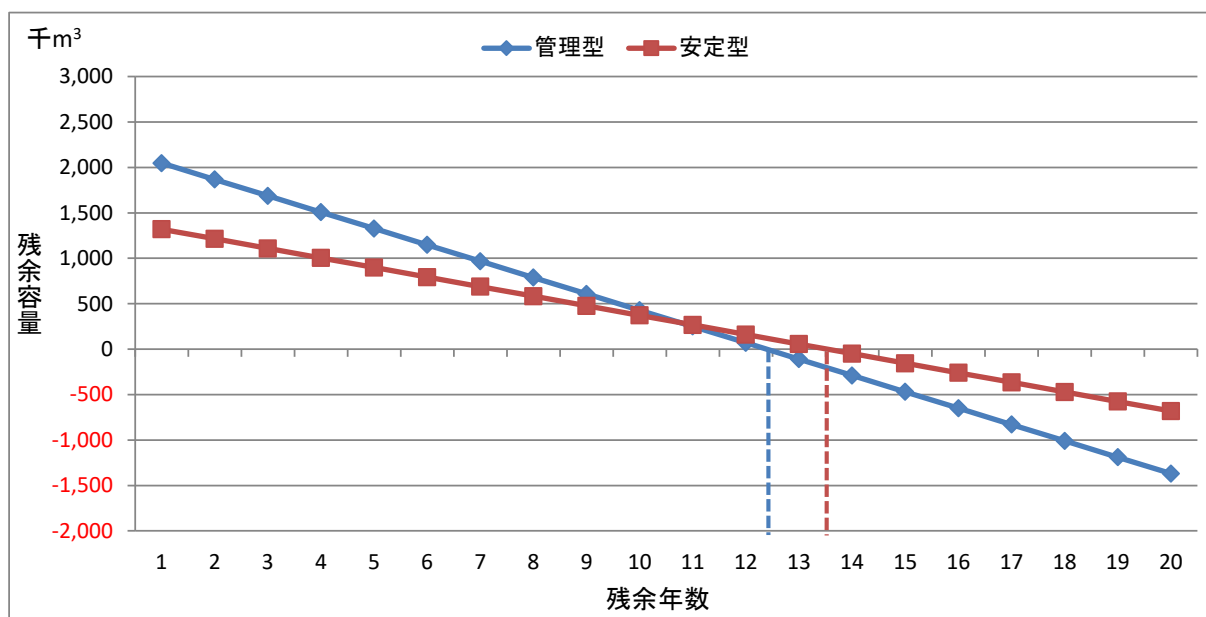


図 5-6 最終処分場の残余年数の推計

第6章 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の解析

産業廃棄物管理交付等状況報告(廃棄物処理法第12条の3第7項)について、解析を行った結果は、以下のとおりである。

6.1 データ整備等の内容

1 電子データベース化

産業廃棄物管理票交付等状況報告書について、以下の電子データベース化を行った。

なお、電子マニフェスト登録等状況報告書のデータについても、共通項目のレイアウトに変更し、情報を統合した。

<台帳> ①報告者氏名 ②事業場の名称 ③事業場の所在地 ④業種コード	
<廃棄物データ> ⑤行番号 ⑥産業廃棄物の種類コード ⑦排出量 ⑧管理票の交付枚数 ⑨運搬受託者の許可番号 ⑩運搬受託者の氏名又は名称 ⑪運搬先のコード ⑫処分受託者の許可番号 ⑬処分コード ⑭処分受託者の氏名又は名称 ⑮処分場所のコード	

2 各種のデータ整備

6.1.1 で作成した統合データに対して、区間委託の制御、単位、種類コード、地域コード等の確認、整備を行った。

3 報告者及び事業場の整理

本解析においては、報告者台帳作成に当たって同一事業場等のマッチング作業を行うために、3つの項目から報告者を識別するコード(ID)化を行った。

本報告書で用いた用語		報告者及び事業場の整理
報告書件数		受理した報告書の件数。ただし、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告書については、電子マニフェスト交付単位(1件)で電子化されているため、報告者名称、種類、事業場名称、事業場住所が同一のものは1報告書として集計した。
報告者	報告企業(ID1)	報告者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。
	報告事業者(ID2)	ID1を更に、「本店、支店、営業所」等の名称、「報告者の住所(市町村)」でマッチングしたもの
	報告事業場(ID3)	ID2を更に、事業場名称、「事業場の住所(市町村)」でマッチングしたもの

6.2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況は、表 6-1、表 6-2 のとおりである。

令和 3 年度実績として福島県(福島市、郡山市、いわき市を含む)に報告された産業廃棄物管理票交付状況報告書に基づく報告件数は 7,531 件、産業廃棄物管理票交付枚数(以下、「交付枚数」という)は 439,460 枚、排出量は 1,705 千トンとなっている。また、電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく報告件数は 12,764 件、交付枚数 399,202 枚、排出量は 2,970 千トンとなっており、両者を合わせた(以下、「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」という)報告件数が 20,295 件、交付枚数が 838,662 枚、排出量が 4,675 千トンとなっている。

また、本解析にて整理した報告者及び事業場数では、報告企業数(ID1)が 7,950 件、報告事業者数(ID2)が 8,267 件、報告事業場数(ID3)が 19,823 件であった。(表 6-1)

電子マニフェスト登録等状況報告書に基づく交付枚数は増加している。(表 6-2)

表 6-1 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況

		報告書件数	報告企業数 (ID1)	報告事業者数 (ID2)	報告事業場数 (ID3)	産業廃棄物 管理票 交付枚数	排出量 (t)
県 所 管	産業廃棄物管理票交付状況報告書	3,726	1,982	2,104	3,690	234,428	1,006,923
	電子マニフェスト登録等状況報告書	5,568	1,458	1,536	5,404	199,331	1,958,753
	(3市除く)	9,294	3,440	3,640	9,094	433,759	2,965,676
福 島 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,076	696	710	1,042	51,578	146,038
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,394	726	740	2,321	49,187	112,970
		3,470	1,422	1,450	3,363	100,765	259,007
郡 山 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,322	874	897	1,308	66,376	170,312
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,651	751	774	2,577	70,707	210,445
		3,973	1,625	1,671	3,885	137,083	380,757
い わ き 市	産業廃棄物管理票交付状況報告書	1,407	817	835	1,392	87,078	381,560
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,151	646	671	2,089	79,977	688,319
		3,558	1,463	1,506	3,481	167,055	1,069,879
合 計	産業廃棄物管理票交付状況報告書	7,531	4,369	4,546	7,432	439,460	1,704,833
	電子マニフェスト登録等状況報告書	12,764	3,581	3,721	12,391	399,202	2,970,486
		20,295	7,950	8,267	19,823	838,662	4,675,319

表 6-2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書の報告状況の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
交 付 枚 数	産業廃棄物管理票交付状況報告書	475,200	472,002	441,769	433,307	414,066	439,460
	電子マニフェスト登録等状況報告書	235,216	261,585	298,246	351,656	374,189	399,202
	計	710,416	733,587	740,015	784,963	788,255	838,662
排 出 量 (千t)	産業廃棄物管理票交付状況報告書	2,265	2,381	2,140	2,139	1,961	1,705
	電子マニフェスト登録等状況報告書	2,128	2,313	2,587	2,838	2,786	2,970
	計	4,393	4,694	4,727	4,977	4,747	4,675

2 産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出状況

種類別の産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数は、表 6-3、表 6-4 のとおりである。

産業廃棄物の種類別に排出量をみると、ばいじんが 1,614 千トンで最も多く、以下、がれき類が 1,317 千トン、汚泥が 422 千トン、木くずが 296 千トン等となっている。(表 6-3)

業種別にみると、電気・ガス・水道業が 1,891 千トンで最も多く、以下、建設業が 1,769 千トン、製造業 686 千トン等となっている。(表 6-4)

なお、産業廃棄物管理票交付等状況報告書データには、電気業から排出されるばいじんのうち、自社処分場へ運搬された運搬実績及び船積貯槽へ運搬された運搬実績が含まれている。

また、県内の中間処理業者における中間処理後の残さ物の他社への委託処理（2次マニフェスト）による交付分が含まれている。

表 6-3 種類別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,675	2,966	259	381	1,070	838,662	433,759	100,765	137,083	167,055
燃え殻	222	169	0	1	51	11,779	8,387	66	440	2,886
汚泥	422	136	19	98	170	48,589	18,377	3,892	12,678	13,642
廃油	36	16	2	6	12	42,664	19,558	5,792	7,935	9,379
廃酸	16	10	0	2	3	4,588	2,389	362	1,003	834
廃アルカリ	51	33	2	4	13	8,803	4,930	630	1,405	1,838
廃プラスチック類	202	127	16	29	30	170,317	83,158	25,727	30,756	30,676
紙くず	6	3	1	1	0	10,312	4,767	1,815	2,418	1,312
木くず	296	157	46	24	69	87,253	45,281	9,220	11,481	21,271
繊維くず	3	2	0	0	0	2,300	1,064	228	517	491
動植物性残さ	11	5	1	5	0	6,742	2,406	834	3,307	195
動植物系固形不要物	0			0		52			52	
ゴムくず	0	0	0	0	0	108	55	3	10	40
金属くず	26	13	3	6	4	24,642	10,159	3,342	6,879	439,460
ガラス・陶磁器くず	182	88	27	18	50	52,803	22,878	8,386	8,670	12,869
鋳さい	186	142	11	2	30	15,948	12,506	778	181	2,483
がれき類	1,317	783	118	174	241	231,747	138,305	22,940	33,524	1,705
動物のふん尿	2	2				689	689			
動物の死体	0	0	0	0	0	93	56	20	5	12
ばいじん	1,614	1,231	0	0	383	29,053	15,115	47	2	13,889
コンクリート固化物										
その他	82	48	12	9	12	90,180	43,679	16,683	15,820	13,998
感染性廃棄物	5	2	1	1	1	32,200	12,224	8,102	6,941	4,933
混合廃棄物等	76	46	11	8	11	57,980	31,455	8,581	8,879	9,065

表 6-4 業種別産業廃棄物管理票交付等状況報告書に基づく排出量及び交付枚数

	排出量(千t)					交付枚数				
	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市	計	県所管	福島市	郡山市	いわき市
計	4,675	2,966	259	381	1,070	838,662	433,759	100,765	137,083	167,055
農業・林業	5	2	0	2	1	1,302	787	49	312	154
漁業										
鉱業	6	2	4	0	0	1,689	810	712	164	3
建設業	1,769	988	175	248	358	419,233	237,923	44,614	66,468	70,228
製造業	686	351	31	45	259	136,335	70,252	10,050	18,092	37,941
電気・ガス・水道業	1,891	1,455	2	32	401	47,388	27,718	419	3,480	15,771
情報通信業	3	1	1	0	1	1,833	647	457	336	393
運輸・郵便業	11	4	4	1	1	7,156	3,147	882	2,165	962
卸・小売業	29	13	4	6	6	83,597	36,620	15,064	14,512	17,401
金融・保険業	0	0	0	0	0	599	25	37	126	411
不動産業・物品賃貸業	10	6	1	1	1	6,896	2,287	1,708	1,088	1,813
専門サービス業	2	2	0	0	0	1,873	699	380	509	285
宿泊業・飲食サービス業	2	1	0	1	0	11,622	4,733	2,727	2,738	1,424
生活関連サービス業	1	1	0	0	0	2,350	443	633	1,221	53
教育・学習支援業	0	0	0	0	0	513	37	288	129	59
医療・福祉業	8	3	3	2	1	60,357	22,824	15,327	12,847	9,359
複合サービス業	0	0	0	0	0	128	24	45	18	41
サービス業	251	137	32	42	40	54,636	24,563	6,932	12,789	10,352
公務	1	0	0	0	0	1,088	206	441	36	405
その他	0	0		0		67	14		53	

6.3 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストの作成

産業廃棄物の処分業者、収集運搬業者の令和3年度実績データから、委託者（排出事業者）を整理し、以下のとおり「産業廃棄物管理票交付等状況報告」（廃棄物処理法第12条の3第6項）の対象となる事業者の台帳を作成した。

また、産業廃棄物管理交付等状況報告書で作成した台帳同様(6.1)に、3つの項目から排出者を識別するコード(ID)化を行った。

表 6-5 排出者及び事業場の整理方法

本報告書で用いた用語		排出者及び事業場の整理
排出者	排出企業(IDa)	委託者名称から「本店、支店、営業所」等の名称を除外し、マッチングしたもの。なお、(株)、(有)等の名称は除外しマッチングした。また、福島市、郡山市、いわき市は、単独で整理した。
	排出事業者(IDb)	IDaを更に、「本店、支店、営業所」等の名称でマッチングしたもの
	排出事業場(IDc)	IDbを更に、「委託者の住所(市町村)」でマッチングしたもの

このマッチングの作業により、産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数は40,871件であり地域別の対象者数は、表6-6のとおりである。なお、このうち産業廃棄物の処分業者及び収集運搬実績データにおいて、詳細な住所が記載されていないものが217件あった。

表 6-6 産業廃棄物の処分業者・収集運搬実績から整理した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者数

	排出企業数 (IDa)	排出事業者数 (IDb)	排出事業場数 (IDc)
県所管	15,005	16,664	22,655
県北地区			4,889
県中地区			4,720
県南地区			3,851
会津地区			4,734
南会津地区			434
相双地区			3,810
詳細不明			217
福島市	4,601	5,065	5,065
郡山市	6,207	6,804	6,804
いわき市	5,789	6,347	6,347
合計	31,602	34,880	40,871

*1:IDa、IDb は、事業場住所を考慮しないため地区別の内訳は非表示とした。

*2:福島市、郡山市、いわき市は IDa の整理時点で同市を分離しているため、IDb と IDc は同数となる。

作成した産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者は、別添の CD-ROM に格納した。なお、この報告対象者リストのイメージは、表 6-7 のとおりであり、対象者の地区、市町村コード、名称で構成される。

表 6-7 産業廃棄物管理票交付等状況報告対象者リストのイメージ

(IDa)	(IDb)	(IDc)	地区	市町村CD	排出事業場名称
500001	01	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)〇〇工場
500001	02	001	T1:県北	071111	〇〇〇〇(株)△△工場

参考データ

統計表1 業種別・種類別の排出量[令和3年度]

業種	燃え殻		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性 脂肪	動物系固 形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶 磁器くず	ぬい ざい	がれき類	ばいじん	13号廃棄 物	動物のふ ん尿	動物の死 体	その他	(単位:千t/年)		
	合計	燃え殻																					燃え殻	燃え殻	燃え殻
合計	7,457	245	3,221	33	19	93	203	6	275	4	18		0	30	146	156	1,622	1,317		8	2	59	6	47	7
農業・林業	12	0	0	0	0	0	2	0	0	0			0	0	0					8	2	0	0	0	0
漁業	11	0	0	0	0	0	2	0	0	0			0	0	0					8	2	0	0	0	0
林業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
鉱業	127	0	127	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0										
建設業	2,175	1	113	1	1	0	58	4	272	4			0	13	46	1	1,621	0				38	0	37	2
製造業計	2,612	14	2,113	23	15	89	92	1	2	2	18		0	7	80	109	0	43			0	5	0	2	3
食料品	43	0	22	1	0	0	2	0	0	0	17		0	0	0							0	0	0	0
飲料・飼料	5	0	3	0	0	0	0	0	0	0	1		0	0	0							0	0	0	0
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
木材	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0			0	0	0							0	0	0	0
家具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
繊維	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
印刷	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
化学	637	2	573	12	4	30	3	1	1	1	0		0	1	0	0	0	11			0	0	0	0	0
石油・石炭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
プラスチック	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
ゴム	8	0	0	0	0	0	7	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
皮革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
窯業・土石	98	0	18	0	0	1	1	0	0	0			0	0	73	2		2				0	0	0	0
鉄鋼	19	2	0	0	0	1	0	0	0	0			0	0	2	14		0				0	0	0	0
非鉄金属	73	1	67	0	0	3	0	0	0	0			0	0	0	1	0	0				0	0	0	0
金属	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0			0	0	0	1						0	0	0	0
はん用機器	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
生産用機器	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
業務用機器	5	0	0	0	0	4	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
電子部品	27	1	10	1	4	12	1	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
電気機器	44	23	1	4	11	3	0	0	0	0			0	0	0			0				0	0	0	0
情報通信機器	20	0	0	0	0	19	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
輸送用機器	104	0	4	3	1	1	1	0	0	0			4	4	89			0				0	0	0	0
その他製造業	30	5	3	3	1	5	6	0	0	0			2	2	1			2				0	0	1	0
電気・ガス・水道業	2,401	230	842	0	0	1	1	0	0	0			0	0	5	46	0	1,274				1	0	0	0
電気業	1,574	230	16	0	0	1	1	0	0	0			0	0	5	46	0	1,274				1	0	0	0
ガス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
熱供給業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
上下水道業	66	0	66	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
工業用水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
下水道業	760	0	760	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0			0				0	0	0	0
情報通信業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1	0	0							0	0	0	0
運輸業・郵便業	6	0	0	0	0	0	2	0	0	0			0	0	3	0						0	0	0	0
卸売業・小売業	8	1	0	0	0	0	6	0	0	0			0	0	1							0	0	0	0
金融業・保険業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							1	0	0	1
不動産業・賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
専門サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
宿泊業・飲食業	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
生活サービス業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
教育・学習支援業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
医療・福祉業	10	0	1	0	0	0	2	0	0	0			0	0	1							0	5	0	0
複合サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0
サービス業	96	0	18	8	3	3	39	0	0	0			7	10	0			0				0	7	0	7
公務	4	0	3	0	0	0	1	0	0	0			0	0	0							0	0	0	0

統計表2 排出量及び処理量(種類別)[令和3年度](その1) (単位:千t/年)

区分	発生量 (A) (B+Z1+C)	有償物量 (B)	保管量 (Z1)	排出量 (C) (D+G)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量 (H) (I+K+J)	自己最終処分量					
					うち焼却 量 (D)	汚泥脱水 減量 (T1)	自己中間処理後量 (自己中間処理後の処理内訳)		(G)	自己未処理量 (自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)		(処理先地域の内訳)					
							再生利用 量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)		委託処理 量 (E3)	(Z2) 保管量			(G1)	(G2)	(G3)	県内	県外	
																			再生利用 量 (E)
種類 合計	7,658	201		7,457	3,247	201	2,657	353	187	48	118		4,210	51	222	3,937	4,324	270	270
燃え殻	248	3		245	1	1		0			0		244	9	56	179	235	56	56
污泥	3,344	123		3,221	2,999	104	2,657	224	65	48	110		222	35	0	186	345	49	49
廃油	34	1		33	2	2							31			31	31		
廃酸	19	0		19	3	1		0	0				16	1	15	15	15		
廃アルカリ	93			93	56	21		1	1		1		37	0	37	37	38		
廃プラスチック類	206	3		203	60	51		5	4	1	1		143		0	142	144	0	0
紙くず	8	3		6	1	1		1	1	0	0		4		0	4	4	0	0
木くず	297	22		275	4	1		2	2	0	0		272		1	271	272	1	1
繊維くず	4			4	0	0		0	0	0	0		4		0	4	4	0	0
動植物性残さ	18			18									18			18	18		
動物系固形不要物																			
ゴムくず	0			0									0			0	0		
金属くず	36	7		30	0			0	1	0	0		30	4	0	26	25	0	0
ガラス陶磁器くず	146	0		146	9	1		9	8	1	1		137	0	1	136	137	1	1
鉱さい	158	2		156	22	21		22	17	5			135			135	139		
がれき類	1,622			1,622	91			88	88	0			1,531	2	2	1,528	1,529	2	2
ばいじん	1,355	37		1,317	0	0		0	0				1,317		161	1,156	1,317	161	161
13号廃棄物																			
動物のふん尿	8			8									8			8	8		
動物の死体	2			2									2			2	2		
その他	59			59	1			1	0	0			59			59	59		
感染性廃棄物	6			6									6			6	6		
混合廃棄物	54			54	1			1	0	0			53			53	54		

統計表2 排出量及び処理量(種類別)[令和3年度](その2)

種類	区分委託処理量		委託直接最終処分量		委託中間処理量										再生利用量		最終処分量		(単位:千t/年)	
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E+G+M1)	(G) (I+O+M2)	(Q1)	(Q3)						
			県内	県外		域内	域外		保管量 (Z3)	再生利用量 (M1)					最終処分量 (M2)					
			うち焼却 量	うち焼却 量		うち焼却 量														
合計	4,055	260	233	28	3,794	2,462	165	1,333	969	3,597	3,484	113	643	270	373					
燃え殻	179	28	26	1	151	87	61	64	58	151	151	0	84	56	28					
汚泥	297	50	25	25	247	147	23	100	35	161	145	16	115	49	66					
廃油	31				31	15	10	16	4	13	12	0	0		0					
廃酸	15	0		0	15	4	3	11	1	2	2	0	0		0					
廃アルカリ	38				38	8	8	30	8	6	5	1	1		1					
廃プラスチック類	143	6	6	0	137	94	10	43	4	120	94	25	32	0	31					
紙くず	4	0	0	0	4	3	0	1	0	3	2	1	1	0	1					
木くず	271	3	3	0	268	224	8	44	3	257	249	7	11	1	10					
繊維くず	4	0	0	0	4	1	0	3	0	3	3	1	1	0	1					
動植物性残さ	18	0	0	0	18	16	0	2	0	17	17	0	0		0					
動物系固形不要物																				
ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0					
金属くず	25	0	0	0	25	21	0	4	0	25	24	1	28	0	2					
ガラス陶磁器くず	136	17	16	1	119	106	0	14	1	119	98	21	107	1	38					
鉱さい	139	7	7		132	48	4	84	53	132	132	0	149		7					
がれき類	1,528	43	43	0	1,484	1,464	0	21	0	1,484	1,471	14	1,561	2	57					
ばいじん	1,156	101	101	0	1,055	166	24	889	799	1,051	1,050	1	1,050	161	102					
13号廃棄物																				
動物のふん尿	8				8	8				8	8		8							
動物の死体	2				2	0	0	2	0	2	2	0	0		0					
その他	59	5	4	0	55	49	13	6	2	43	20	23	20	28	28					
感染性廃棄物	6				6	5	5	1	0	1	0	1	0		1					
混合廃棄物	54	5	4	0	49	44	8	5	2	42	20	22	20		27					

統計表3 排出量及び処理量(業種別)[令和3年度](その1)

業種	発生量		有償物量		保管量		排出量		自己中間処理量				自己中間処理後量				自己未処理量				搬出量		自己最終処分量	
	(A) (B+Z1+C)	(B)	(Z1)	(C) (D+G)	(D)	(T1)	(自己中間処理後量)		(自己中間処理後の処理内訳)		(G)	(自己未処理の処理内訳)		(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	(処理先地域の内訳)		(E2+G2)	270					
							うち焼却量	汚泥脱水減量	(E)	(E1)		(E2)	(E3)			(Z2)	(G1)			(G2)	(G3)	県内	県外	
																								再生利用量
合計	7,658	201		7,457	3,247	2,691	353	187	48	118	4,210	51	222	3,937	4,324	270	270							
農業・林業	12			12							12			12	12									
漁業	0			0							0			0	0									
鉱業	127			127	126	62	64	64	0	0	0			0	0									
建設業	2,197	22		2,175	95	0	92	92	0	0	2,080	2	3	2,075	2,078	3	3	3	3					
製造業	2,627	15		2,612	2,196	1,882	128	31	48	49	416	40	7	369	474	55	55							
電気・ガス・水道業	2,564	164		2,401	829	747	69	0	68		1,572	9	211	1,351	1,631	211	211							
情報通信業	1			1							1			1	1									
運輸・郵便業	6			6							6			6	6									
卸・小売業	8			8							8			8	8									
金融・保険業	2			2							2			2	2									
不動産業・物品賃貸業	0			0							0			0	0									
学術研究・技術サービス業	0			0							0			0	0									
宿泊業・飲食サービス業	1			1	0		0	0	0	0	1			1	1									
生活関連サービス業	1	0		1	0		0				0			0	1									
教育・学習支援業	1			1							1			1	1									
医療・福祉業	10			10							10			10	10									
複合サービス業	0			0							0			0	0									
サービス業	96			96	1		1	0	1		95			95	95	0	0	0	0					
公務	4			4							4			4	4	0	0	0	0					

(単位:千t/年)

統計表3 排出量及び処理量(業種別)[令和3年度](その2)

(単位:千t/年)

業種	区分委託処理量		委託処理量の内訳		委託直接最終処分量		委託先地域の内訳		委託中間処理量		委託中間処理後量				再生利用量		最終処分量	
	(K) (O+L)	(O)	(処理先地域の内訳)		(L)	(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(R) (E+G+M1)	(Q) (I+O+M2)	(Q3)	事業者	(O1)	処理業者		
			県内	県外		県内	県外		再生利用量 (M1)	最終処分量 (M2)								
			うち焼却量			うち焼却量												
			うち焼却量			うち焼却量												
合計	4,055	260	233	28	3,794	2,462	165	1,333	969	3,597	3,484	113	643	270	373			
農業・林業	12	0	0	0	12	10	0	2	0	11	11	0	0		0			
漁業	0				0	0				0	0	0	0		0			
鉱業	0				0	0				0	0	0	0		0			
建設業	2,075	82	63	19	1,992	1,898	20	95	7	1,935	1,865	70	155	3	152			
製造業	419	35	27	9	383	175	37	209	74	305	290	14	104	55	49			
電気・ガス・水道業	1,420	136	135	1	1,284	303	91	981	882	1,257	1,252	5	352	211	141			
情報通信業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0		0			
運輸・郵便業	6	0	0	0	6	5	0	1	0	5	5	0	1		1			
卸・小売業	8	0	0	0	8	4	0	4	0	8	7	1	1		1			
金融・保険業	2	0	0	0	2	2	1	0	0	1	1	0	0		0			
不動産業・物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
学術研究・技術サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
宿泊業・飲食サービス業	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0		0			
生活関連サービス業	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
教育・学習支援業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0		0			
医療・福祉業	10	0	0	0	10	8	5	1	0	4	3	2	2		2			
複合サービス業	0				0	0	0	0	0	0	0	0	0		0			
サービス業	95	7	7	0	89	52	7	37	4	66	48	18	25	0	25			
公務	4	0	0	0	4	3	2	1	0	2	1	1	1	0	1			

統計表4 排出量及び処理量等の経年推移

1. 排出量 (単位:千t/年)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
合計	7,454	8,052	8,490	8,321	7,936	7,332	7,844	7,822	7,722	7,498	7,457
汚泥	3,797	3,637	3,451	3,648	3,605	3,313	3,496	3,401	3,133	3,068	3,221
がれき類	2,034	2,305	2,135	1,906	1,853	1,675	1,720	1,579	1,694	1,767	1,622
ばいじん	429	1,018	1,696	1,550	1,534	1,403	1,536	1,600	1,592	1,439	1,317
その他	1,195	1,092	1,208	1,217	944	941	1,092	1,242	1,304	1,224	1,297

2. 再生利用量(再生利用時点の種類) (単位:千t/年)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
合計	3,428	3,673	4,343	4,153	3,889	3,677	3,956	3,974	4,185	4,051	3,723
がれき類	1,993	2,233	2,070	1,847	1,803	1,635	1,672	1,536	1,652	1,723	1,561
ばいじん	213	411	1,128	1,213	1,282	1,242	1,355	1,390	1,457	1,266	1,050
燃え殻	140	438	107	158	165	184	219	255	238	219	240
その他	1,083	592	1,038	935	640	617	710	792	838	843	872

3. 再生利用率 (単位:%)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
合計	46	46	51	50	49	50	50	51	54	54	50
がれき類	98	97	97	97	97	98	97	97	98	98	96
ばいじん	49	40	67	78	84	89	88	87	92	88	80
燃え殻	56	66	52	76	65	68	65	71	61	67	65
その他	22	13	23	20	14	17	19	20	22	23	22

4. 最終処分量(処分時点の種類) (単位:千t/年)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
合計	523	962	838	682	570	471	544	572	509	512	643
ばいじん	216	607	506	338	252	161	181	209	135	172	263
汚泥	116	145	117	140	138	134	147	129	104	94	107
燃え殻	70	76	77	51	53	58	70	72	109	81	99
その他	121	134	137	153	127	118	146	162	161	164	174

5. 最終処分率 (単位:%)

	H23年度 (2011)	H24年度 (2012)	H25年度 (2013)	H26年度 (2014)	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R元年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)
合計	7	12	10	8	7	6	7	7	7	7	9
ばいじん	50	60	30	22	16	11	12	13	8	12	20
汚泥	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4
燃え殻	43	34	47	23	34	31	34	29	39	32	34
その他	4	4	4	5	5	5	6	7	6	6	7